友愛婦人

九月號

大正六年六月二十八日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
大正六年九月一日發行（大正六年八月二十五日印刷納本）

友愛婦人 第九號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛婦人趣意

世の中は男ばかりの世界ではなく男ばかりで保つて行くものではありません。人間の半分は女で、女の心懸けや、働きやう一つによつて、此世をば明るくもし、暗くもすることが出來るのであります、友愛會は勞働の品位を高め日本の勞働者の境遇を改めやうとして起つた團體であります。が之まで重に男の人達のために働いて參りました。併し男と同じやうに工場や其他の所で働いて居る婦人又は男を助けて家庭の内で働いて居る婦人方のために、何事か致さねばならぬと云ふ感じが此頃特に著しくなりました。そこで茲に友愛會に婦人部を設け、追々といろ〳〵の事業をしたいと思ふのであります。

友愛會婦人部規則

第一條　本會は之を友愛會婦人部と稱し本部を其中心とし各支部内に其地方々々の事務所を置くことゝ致します。

第二條　本部に納める話代は十錢であります。

第三條　本會は左の如き事業を行ひます。

一、出版部　雜誌『友愛婦人』を毎月一回發行し其他有益な書物を出版致します。

二、講演部　度々講話會を開き餘興を加へて會員の修養娯樂の便を圖ります。

三、人事相談部　會員の爲めに手紙又は面會等の方法に依り種々の相談事に應じます。

四、表彰部　會員の中にて人の模範になる行ひをした人のある時は或は賞金を贈り或は雜誌に寫眞を掲げて其名譽を表彰致します。

五、内職奬勵部　家庭内の婦人の爲めに種々の内職の教授又は奬勵を致します。

第四條　本會に入會を望み又は本誌の讀者とならん事を望まるゝ方は其他必要ある時は右の外諸種の事業を創めることに致します、規定の料金を添へ幹事又は委員まで申出られたいのであります。

第五條　右の外は適宜に行ふことゝ致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦會

□本會は、廣く病院、醫家、患家の需めに應じて、看護婦を派遣す

□御申込は、電話その他便宜の方法に依られたし

産婆

□本會には、熟練なる産婆を置きて、姙婦診察、分娩取扱の需めに應ず。

但貧困の方には持に無料にて取扱ふ

□御申込は看護婦に於ると同じ

東京市本所區緑町一ノ四二

みどり看護婦會

電話本所五八番

月刊雜誌

一冊 十五錢　一年一圓八十錢

勞働及産業

第七十三號　九月一日

■工場法施行後の感想……鈴木文治
□工場法と資本勞働……添田壽一
■工場法と勞働の將來……松田源治
□勞働一家言……蒲生俊文
■工場法と生命の價値……板倉定四郎
□工場法は慈善で無い……野坂鐵
■工場法無駄話……久留天豪
□工場法と勞働團體……堀江歸一
■浮世床……平澤紫魂
□米國より申上候……吉松貞彌
■ケレンスキーに與ふ……坂本正雄

月刊雜誌

一冊 六錢　一年六十五錢

社會改良

第四卷　八月十五日

■氣分と能率……鈴木文治
□社會改良の一歩……山脇玄
■勞働紛議解決案……岡見愼二
□社會政策の疑義……野坂鐵
■同盟罷業の方法……酒井淡
□工業裁判所制度……油谷治郎七
■社會政策の合理……久留弘三
□工業經濟講話……鈴木文治
■階級鬪爭論……江田茂喜代
□瀧の音……改良社同人
■アッペの社會政策……野坂鐵

友愛會本部

申込所 東京三田

振替東京三一五一七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『友愛婦人』第九號目次

表紙　佛國の女飛行家ベタン嬢……

卷頭　秋……

欄

心の化粧……友愛會々長　鈴木文治……六

珍らしい來事……記者……八

―烏が八十錢雀二十錢。

―木を殺す獨逸の兵隊さん。

―狂人に刃物。

―獨逸とロシヤの女の兵隊が戰つた。

―食物を棄てた罪。

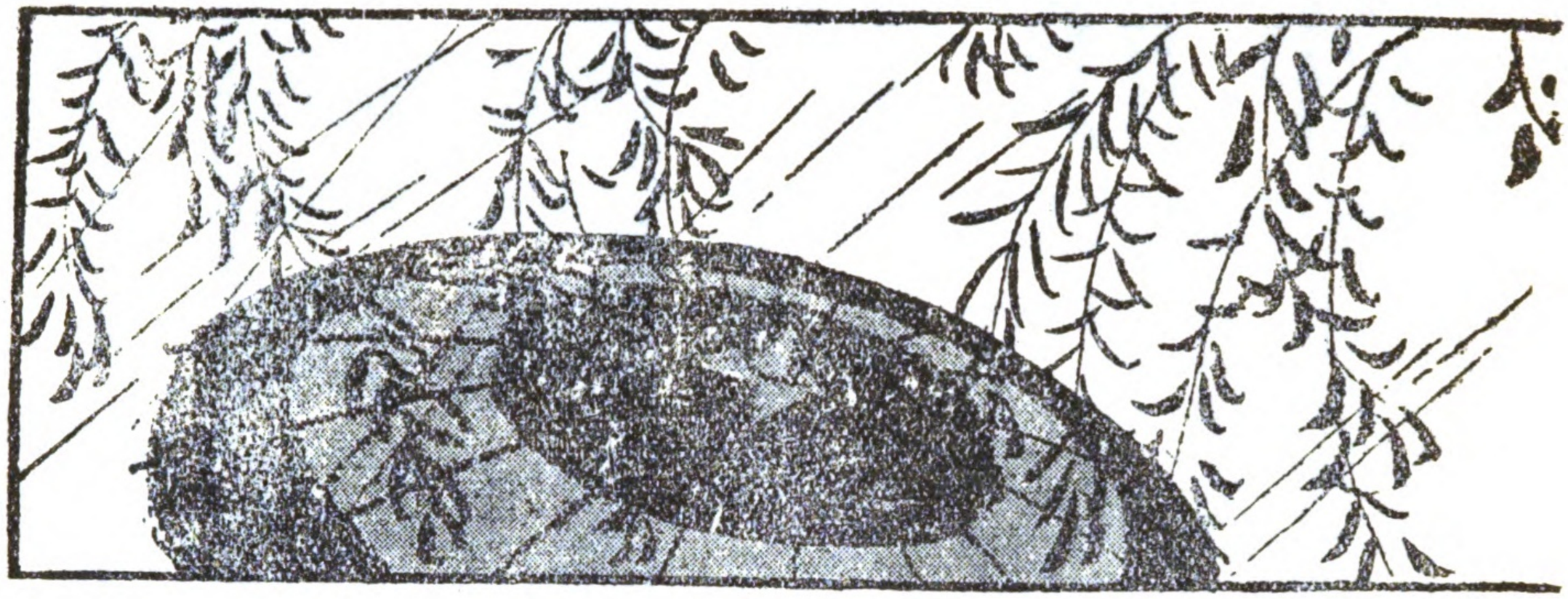
―米國では旗を捨てゝ罪。

―元の布哇の女王樣。

―七歳の兵隊さん。

―人買に掻浚はれた少女たち。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



めでたいお話。
新らしい華族さん。
力自慢の〝シャの婦人。

善光寺まゐり……平澤紫魂…一三
たやすく拔ける着物のしみ……山下榮造…二一
御相談相手……本部の係員…二三
歷史物語 少女の誠心……市瀨せん子…二六
秋が來ました……市原幾代…二八
九月の手紙……記者…二九
お料理……家庭記者…三三
無いものづくし……坂本正雄…三四
犬と猫（オトギバナシ）……三六
滑稽小話 奥さんの避暑……茶目坊…三九
懸賞字探し及解答……四三
友愛文藝……（短文和歌俳句等）……四五
婦人部會報……四八
小說 復讎……君塚はま子…四九
編輯便り……六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二十世紀之婦女

友愛婦人記者　坂本正雄著

（定價金卅錢　郵税四錢）

大好評

進歩的宗教の眞締と、婦人問題の新研究と、立憲政治の根本義と、社會政策の大理想と、廿世紀男女の覺悟とを青年著者が聖靈に滿されて記述せるの書也

朝日新聞は本書を眞面目なり書なりとし、讀賣新聞は本書を興味ある書なりと做せり。浮田法學博士は著者を以て着實而も新らしき青年なりと紹介し、三並教授は著者を以て徹底的信仰を持する人なりと讃せり。更に茅原華山氏は著者に一書を與へて世の浮薄なる青年を呪ふと共に、生活問題を解決せんとせり。右三氏の文章は本書の卷頭卷尾を飾り錦上更に花を添へたるの觀あり。

友愛會員は本部へ直接申込めば一冊送料共二十四錢とす（一切前金）

發行所　東京銀座　警醒社書店

振替東京五五三番
電話新橋一五八七番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛婦人

九月號

初秋の歌

野の花

金色に光る泥田の日盛りを　小田すく人あり　涙ぐまし。

菅笠の深きにわかき日の思を　秘めてはたらく　鄙歌の主。

鄙歌の主は見えず夕もやの　うるみの中に里は暮れゆく。

默しゆく野のたそがれよ雲高く　流るゝ方にさすらへる魂。

いまだ見ず知らざる遠き詩の國に　魂誘ふか夜半のむしの音。

シャベル肩に家路を急ぐ人々の　かほにみなぎる「生」の聖さ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

心の化粧

友愛會々長　鈴木文治

□□□婦人は地上の花の

婦人は地上の花であります。從つて美しい上にも美しくする爲めにいろ〳〵化粧するといふことは至極尤ものことであります。夫れに此頃は樣々の美顏料の化粧品が後から〳〵と紹介されますから、年若い婦人がたが、心をそゝられるのも無理はありません。併し私から言はせますと、化粧といふものは、如何に高價な原料を用ひても、單に外面からのみしては駄目であると思ひます。まことの化粧といふものは、白粉を塗り、紅をつけ、又は眉をいろどるといふやうなことではなくて心の奥底からにじのづと顯はれ出る、品格の光でなければならぬと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

白く塗りたる墓

昔、西洋の聖人の申された言葉に『あゝ僞善なる者よ、汝等は白く塗りたる墓の如し、外は美はしく見ゆれども、中は諸々の汚穢と腐敗とに滿つ』といふのがあります。東洋の諺にも『外面女菩薩、内心如夜叉』と申します通り、如何樣に美しく外面丈けを飾り立てゝも、其心柄に暗い、曇つた所があれば決して美人とは申されません。凡て人は『隱すより顯はるゝはなし』と申しまして、自分の心に思ふことは考へることは自づから其顏形に現はれて來るものと。

のであります『口あけば、五臟も見ゆるあけびかな』と言ひますが、別に口をきかなくとも其人の品性、學問、操行といふやうなものは、一つの氣品とおのづから映え出づるものであります。色がよし黑くとも、鼻がよし平たくとも、顏に締りがあり、眼に輝きがあれば、矢張り一つの美といふことには相違ありません。

修養は化粧の秘訣

ですから、私は心の修養、精神の鍛錬、これが婦人化粧法の奥の手であると思ひます。何の教育も修養もない下品な女がベタ〳〵と白粉をつけたのなどは實に醜く卑しいものであります。それよりは心の鏡に己れの靈魂を研いで、眞底からの美人となるの工夫が第一であります。それに心に光が出來、締りが出來て來れば、身じまひも自然にキチンとしてまゐります。私は何よりも諸者諸姉に、あくどい人工的の化粧によつて、己れの美を保たうとするよりも高尚な、氣高い、そして潔い心を養はるゝことによつて、人工的の化粧を不必要とする迄に修養せらるゝことをお勸め致すものであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

珍らしい出來事

記者

(一)烏が八十錢雀が二十錢

戰爭が永びくのでドイツはどいつもこいつも食物に困つて、其都の伯林では烏が一羽八十錢雀が一羽二十錢しますし、戰爭前は食べられぬものと思つてゐた泥川の貝迄、何よりの御馳走樣でございますと喜んで食べるんですつて、もう齧し經つと木の皮や草の根をうまいうまいつて食べるやうになるかもわかりませんね。

(二)木を殺す獨逸の兵隊さん

其爲めに、敵の方でも食物に困つてゐるだらう、いくら困つても木を食べられないやうにと思つたわけでもありますまいが、獨逸の兵隊は戰爭に負けて逃げる時、わざ〳〵林檎の木でも櫻の木でも伐倒す人もある樣です、木に罪はあるまいに何と云ふ亂暴なやりかたでせうねえ。

(三)狂人に双物

獨逸では食物に困つて來たやうに、兵隊に出る人間の絶えたのにも困つて、ステッチンと云ふ町のネツケンミユーンル癲狂院の狂人迄兵隊にしたつて云ひますけれども狂人だから命令通りには動きません、自分勝手のまねをしていやはやさん〳〵の失敗だつた相です狂人に双物、敵を殺すよりも味方の方がよつぽど劍呑です。

(四)獨逸と露國の女の兵隊が戰つた

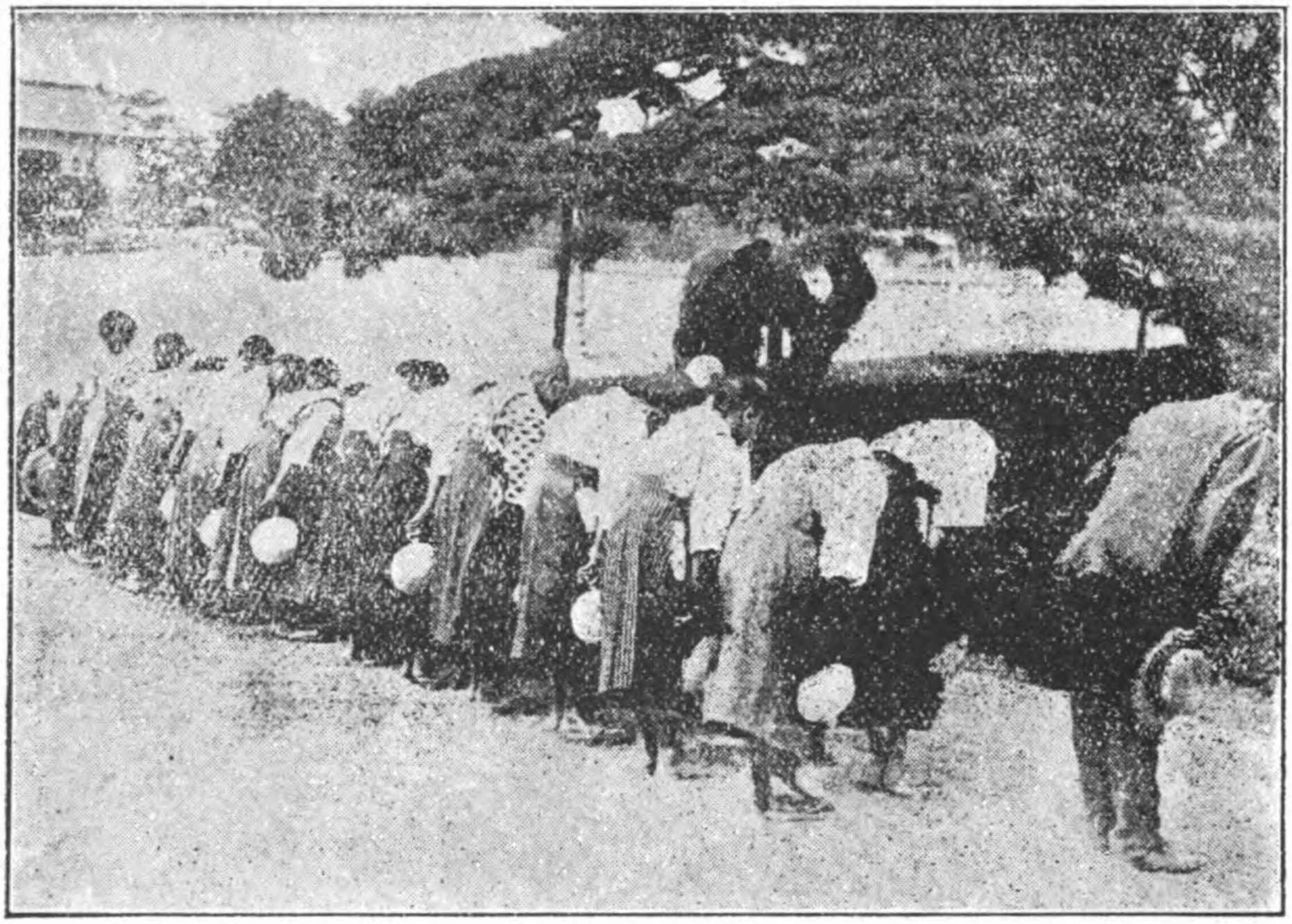
狂人を兵隊にする位ですから、女の兵隊は疾くの昔出來てゐます獨逸ばかりではありません、ロシヤにも女の兵隊が出來てゐます。所で、ロシヤの女の兵隊とドイツの女の兵隊とが、七月二十五日にモルゴンと呼ぶ土地で戰つて、ドイツの方の女は幾人か捕虜になり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ましたとさ。

(五)食物を棄てた罪

食物に困つてゐるのはドイツばかりではありません其對手のイギリスでも大變困つて、自分の食物でも棄てたものは罰金をとられる法律が出來まして、其爲めに汽船の料理番がパン屑や野菜果物の殘り物を海の中に棄てたので、船長初めまさぞへを食つて百圓から四百圓迄の罰金をとられました、又、其都のロンドンのマーガレット、ダンクと呼ぶ或る旅館の女番頭はパンの屑と燒肉の惡くなつた所と馬鈴薯をほんの尠し塵箱に棄てゐたのを見付つて二十圓の罰金をとられました。



明治天皇祭に宮城前で參拜した小學生徒

戰爭をしてゐる國は之を聞いても可哀想でせね、其英國の首相ロイド、ジョージ氏は今迄六匁宛パンを喰つた人は四匁に減して軍國の爲めに盡せつて叫んでゐる相です。

(六)米國では旗を棄てゝ罪

米國は同じ交戰國でも日本と同じやうに、歐洲の戰爭を高見で見物と云ふ呑氣な位置にありますので、食物に困らないばかりでなく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したたま大金儲けをしてほく〳〵喜んでゐますが、其代りもう使へなくなつたぼろ〳〵の國旗でも、それを屑屋へ賣拂つたり塵箱へ捨てたりしやうものなら大變です、罰金などではすみません、ふんじばられてひどい眼に逢ふ相です。

(七)元の布哇の女王様

國旗と云へば、米國に國旗をとられた、布哇の元の女王様、リリウオカラニと稱される八十歳近いお方は餘程國をとられて口惜しかつたのでせう、什麼してもアメリカの國旗を掲げる事を頑として聞きいれませんでしたが、此程アメリカの或る汽船がドイツの潜航艇に撃沈され、五名の布哇人の水夫が溺れて死にましたので、前の女王様は弔意を表す爲めに、ホノルゝの自分の邸に米國旗を初めて掲げましたとさ。隨分元氣のいゝお婆さんですね。

歐洲の戰場に立てる哨兵

(八)七歳の兵隊さん

之れもアメリカの話ですが、ペンシルヴァニヤ州シヤロンと呼ぶ土地のアレキサンダーリジンコーヴと云ふたつた七ッになる子がシ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ヤロンの徴兵署と云つて、兵隊を募集してゐる所へ行き、

「坊を是非兵隊さんにしてお呉れ」とせがみました。

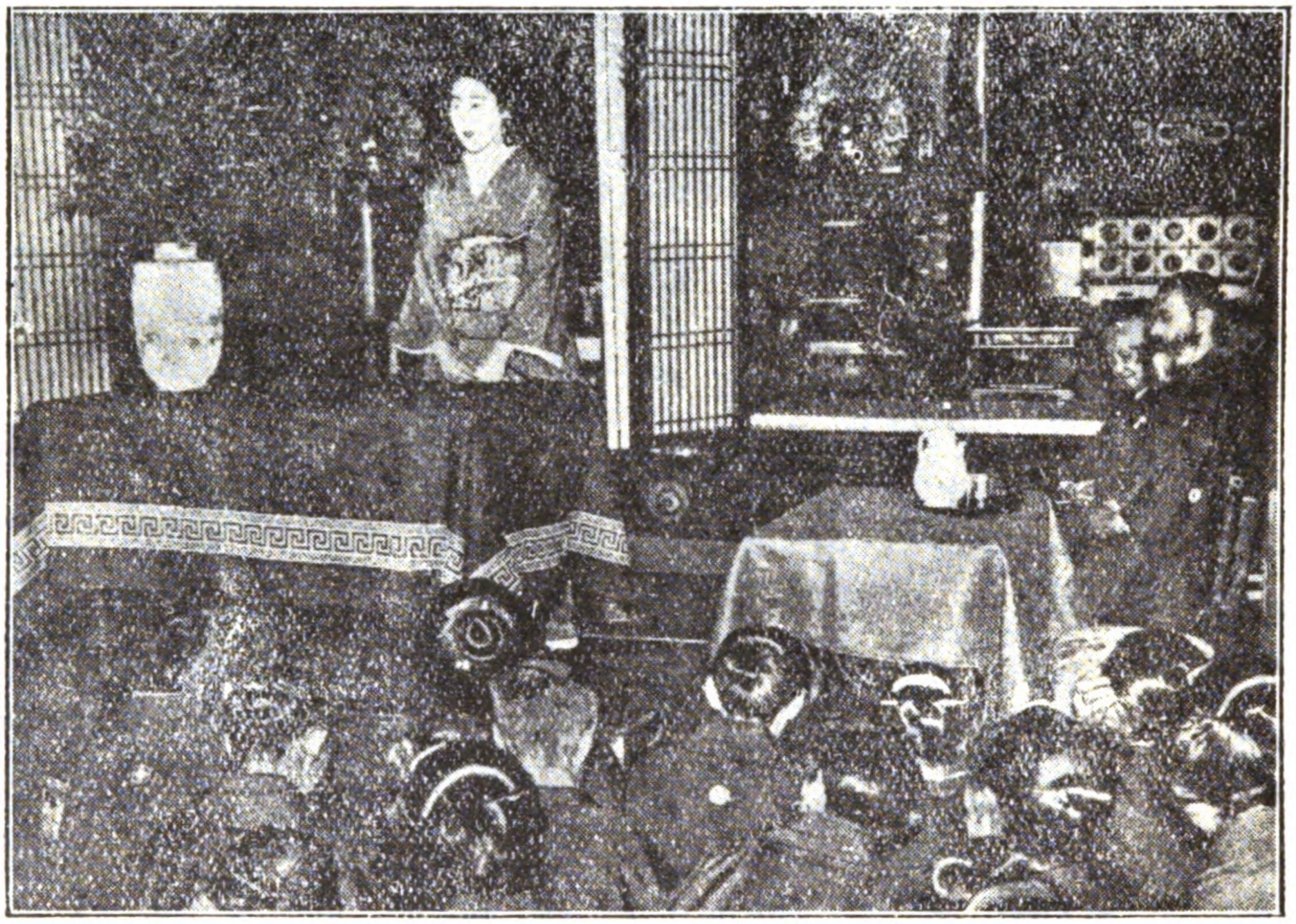
「それでもお前鐵砲は持てまい」と係りの人が云ふと

「鐵砲は持てないけれど、僕は兵隊さんに水を運ぶ仕事をするんだい」と云つて何と云つても聞かずとうとう係員を困らしぬいて見事兵隊さんになりましたとさ

たつた七つの兵隊さん、何て可愛いんでせう。

(九)人買に掻浚はれ

傳手にもう一ッアメリカ



築地本願寺の眞宗婦人會總會

のお話をしませう。紐育と云ふ都では今年の一月から八百名程の十歳から十二歳迄の少女が行衛不明になりましたつて眞實に什麼したんでせう、殺されたのか賣られたのかつて大騒ぎに騒いでゐます。恐ろしや恐ろしや、之れが日本でなくつて幸福でした。

(十)めでたいお話

あまりめでたくない話ばかり續いたから、今度は目出度いお話をしませう、八月十一日午前十時頃、日本の東京市役所を訪れました三人の外國人がありました

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奥田市長さんは丁度御病氣で寢てゐらつしやいましたから三位法學士が代理で御面會しますと、私等は此景色のいゝ日本と云ふ國で結婚をしたいから立合つて下さいと云ふ事でした。三位さんがそれを承知しましたから大喜びで、今其準備中だ相です、此日本好の外國人の名は、旦那樣になる人はヴァンデルランと呼ぶ三十一歳になる和蘭人、奥さんになる人はリディレフレー孃と呼んで二十九歳になる瑞西人、もう一人の女の方はお友達の米國人モート、ケニストン孃です。わざ〳〵日本で結婚したら日本人のやうな優しい孃ちやんや勇ましい坊ちやんが生れませう

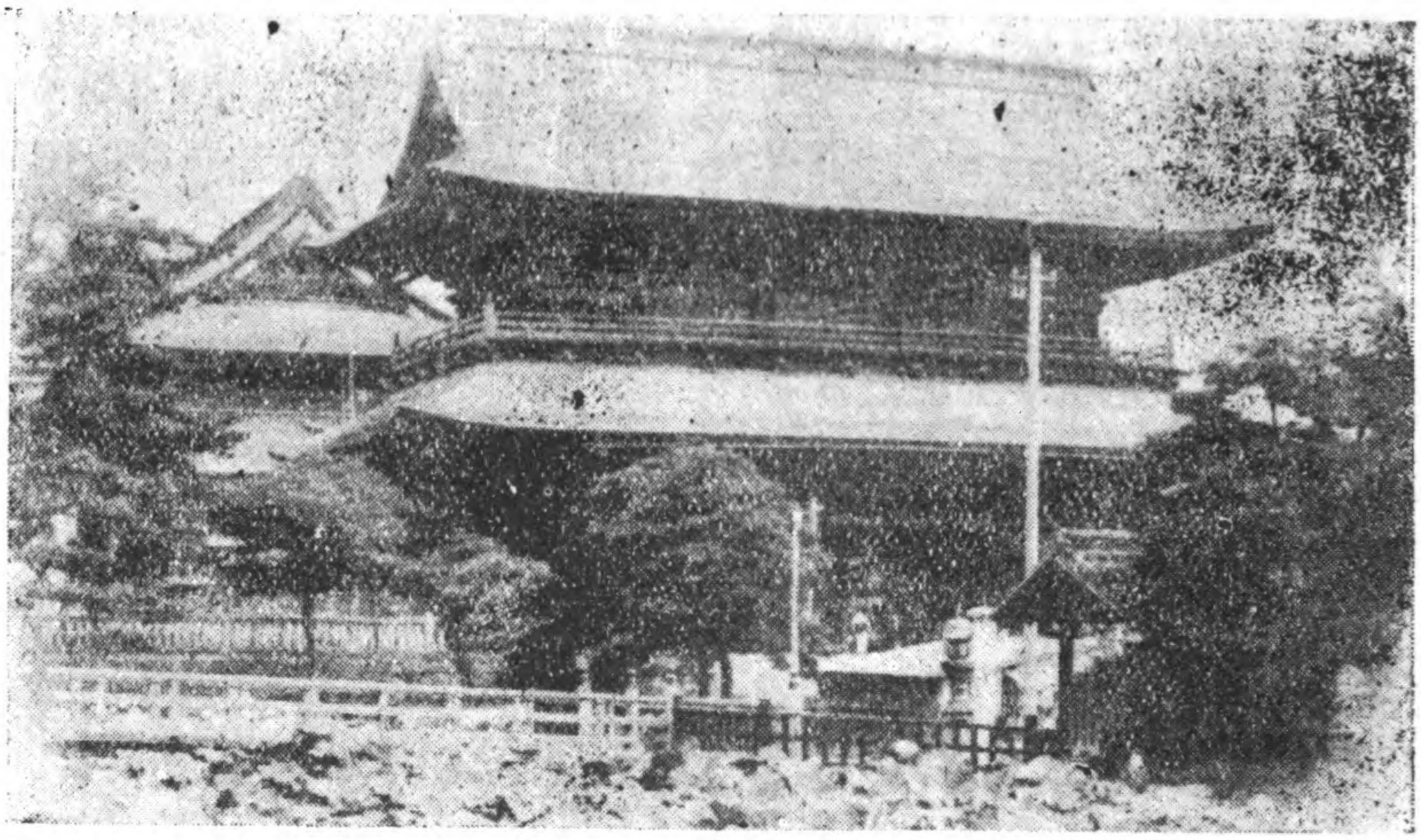
（十一）新しい華族さん

御目出たいと云へば、東京市長の奥田義人さんと松岡康毅さんとの兩人の方が八月十四日に新らしい華族さんにならつしやいましたいづれも國家の爲めにお盡しになられた方だからであります。國家の爲め一生懸命働くからと云ふので職工さんが華族さんになられるやうになつたら嘸面白いでせうねえ。然し、奥田市長は男爵になられてから間もなく亡くなられました。東京市は奥田さんの功績を思つて、八月二十六日、日比谷公園で市葬を行ひました。

（十二）力自慢のロシヤの婦人

今度はロシヤのお話です。外國のお話となると矢張時節柄殺風景お話になります。ロシヤの浦塩は日本に一番近い港ですが、其所の婦人勞働者の勢力は恐ろしいもので、隊を組んで市中を押廻すが其數は凡そ八百人程で、今迄働いてゐた支那人や朝鮮人は一人殘らず追拂つて、其荷揚げや積荷の仕事はみんな自分達が獨占めをして仕舞ひまして、毎日八圓以上の金をとり、三四百圓の金貨やお紙幣はいつも小使錢のやうにポケットにぢやらつかせてゐる相です。其又力は大變なもので百斤位の豆粕二ッは樂々と擔ぎ上げますつて其所に行つて來た日運丸の船長の土產ばなし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



善光寺様の山門

善光寺まゐり

平澤　紫魂

▽名高い佛都

善光寺様と聞けば、それが信州の長野にあるとも、名高い如來様を安置しましたお寺だと云はずとも、皆様は直ぐおわかりでせう。善光寺が長野にあると云ふよりも、善光寺があるから長野があると云つた方が適當でせう。それ位に善光寺は名高いお寺です。

▽不思議な家並

だから長野の家並は心あつてかあらずにか實に不思議です停車場から善光寺迄の道程は十町程ですが、其兩側に並んだ家と云ふ家はみんな善光寺に横を見せてゐます。道の方に横を見せて、丁度主人の前に出た家來がいしこまつてゐるやうに、善光寺に向つて、へい〳〵してゐるやうな棟の建て方です。

▽東京風

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八月の八日の夜、私は此不思議な建方の宅を見ながら、停車場から善光寺へ向つて歩いてゐました。兩側はみんな商店です、ハイカラ小間物屋もあれば美しく飾つた果物屋もある。西洋料理屋もありまするし、特に大きな旅籠屋が多ございます。それがみんな東京風であり廣く無い道でしたけれども、坂道を昇り初めると夜店さへ軒を並べて出てゐました。私の前を歩いて行く娘さん達も東京風です、私は直ぐと荏原支部や本所支部の婦人會にお集りになつた皆様の事を思ひ浮べながら、どんな口のきゝ方をするかしらなぞと思つて善光寺様の方角を聞きますと、優しく親切に教へて呉れました。口のきゝ方が矢張東京風です。

▽御門の怪物

私の眼の前にお化のやうな恐ろしく大きな門が突立つてゐました。それはいよ〳〵善光寺の山門です山門の高さは六丈六尺七分、梁間は四間二尺四寸、桁行十一間一尺六寸と云ひますから、どえらい御門です、中には文珠菩薩四天王を安置してある相です。お化けのやうなのは山門ばかりでありません。どえらい大きく高い御燈明や御地藏の銅像やを見て私ば吃驚してしまひました。御地藏様をお化のやうだなぞと申上げてはすみませんが、もしも惡人が暗闇で御地藏様の前に立てさせられたならば、屹度地獄から黒鬼でもお迎へに來たのであらうと思て顫へあがるだらうと思ひます。

△淺草觀音様より大きい

山門をくゞれば間もなく本堂です、其本堂のまあ立派やかに大きく神々しい事。私は感嘆してお參りもしない前に、星の降るやうな晩に、はてしもない未來の國を思はせるやうな、此名高い佛堂の前で、しみ〳〵と其姿を見ました。

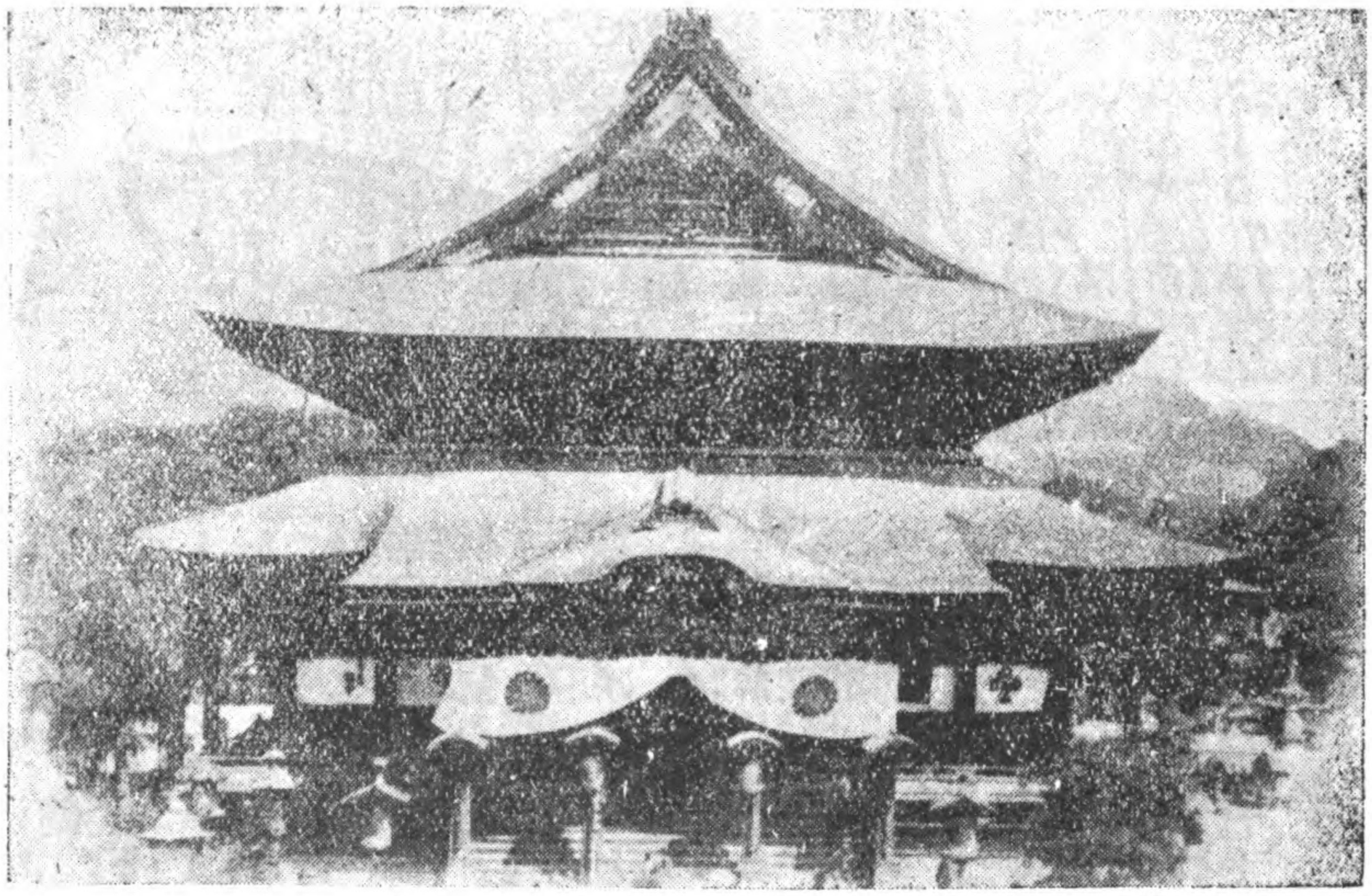
本堂の高さは十丈二尺八寸四分、南北二十九間二尺七寸二分、東西梁間十九間四尺四寸八分三厘外に向拜出端三間一尺八寸、南北桁行三十二間四尺七寸八分、坪數は百三十坪五分九厘六毛だつて云ひますから、何と驚かれた大きさでありますまいか、柱の數は百二十六本、垂木の數は六萬九千三百八十四本、法華經の字の數だけある相です、柱の太さは一人前の男の私では抱きゝれません、傍にゐました

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小供に加勢して貰つて柱の太さを計つて見ましたら、私の抱へた一廻りと二尺程あまりました。堂の廊下を歩いて見ましたら、二百三十七歩ありました。淺草の觀音様の矢張廊下を歩いて見ましたら、百七十八歩でございましたから善光寺様の御堂の方が遙かに觀音様の御堂よりも廣うございます。

▽御本尊

其廣い御堂の御本尊様はどなたかと云ひますと、おんたけ一尺五寸の阿彌陀如來でゐらつしやいます。おんめかたは金無垢ですから六貫三百匁あります。其前に立たせられる二尊は八百七十匁宛ある相でございます。俗に之れを閻浮壇金佛と云へ、又生身の阿彌陀佛と號し、一光三尊の彌陀如來と呼びます。



善光寺様の本堂

▽善光寺如來の御出現

其昔、東天竺の國毘舍離城に月蓋と云ふ長者がありました。山と積んで持つてゐる黄金はぴかぴか光りますけれども、長者の心は慳貪邪見で眞黒でありましたので、お釋迦様が可哀相に思召していろ〳〵濟度してやらうとなされたけれども、長者の邪念去りませんでした。丁度其の時其國に惡い病ひが流行りまして、人々始め無智の牛や馬迄命を失ふものが數限りもありませんでした。病ひはどのやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

な金持でも犯します。長者の娘で十三才になる如是

姫も花耻しい美しさで此惡病にとりつかれ、眼鼻口

から血、耳からは膿を流し、食物は咽喉へ通らず、長者が醫者よ藥よと騒ぐけれども、姫の身體には更に驗なく、もう今にも知れぬ命とはなりました。いくら邪慾に迷つてゐても小供を思ふ親心には二ッありません、月蓋長者は自分の身の病氣にかゝつたよりも苦しみましたが、此上は人の力には及ばぬ事お佛の袖に縋るより外は無いと、お釈迦様にお詣りし前非を悔ゐて涙と共に、

「どうぞ佛のお力で姫の病氣のよくなるやうにお賴み申上げます」と、お願ひしました。

其時お釈迦様の被仰るには、

「姫を助けるには外に方便は無い、然し、此土を去る事十萬億土に阿彌陀如來まします故に、汝宜しく西方に向ひ、罪障を懺悔いたす可し」

長者は此仰せを受け、喜び立歸つて、西に向ひ一心清淨の心で禮拜しますと、あゝら不思議、忽ち西方極樂世界の阿彌陀如來、一光三尊に御來光ましまして、長者が西の樓門に現はれ、十二の大光明を放ち玉へば四邊は皆金色に變じ、姫を始め國中の病人殘りなく平癒しました。されば長者を初め國中の人々喜ぶ事限りなく、永く此土に如來の御形を止め奉

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り、限りない御恩に酬ひ奉らばやと思つて、釋迦様にお願ひしましたので、御釋迦様は龍宮城の龍神から閻浮檀金と呼ぶ金を請受け玉ひて、黄金の玉の鉢へ積上げさせられ、來光三尊佛の大光明とお釋迦様の光明とで照し給へば、あな不思議、閻浮檀金は忽ち三尊の佛體に變じ給ひました、此佛體こそ乃ち善光寺の御本尊であります。

▽月蓋長者聖明王に生れ變る

此有難い有様を見ました月蓋長者の喜びは大變なもので、大伽藍を建立して新佛を迎へ奉り、朝夕一心に禮拜しましたが、年老いて死ぬる時、佛の前で生々世々如來の御側へ仕へ奉り御高恩を報ぜんと誓ひをたて、眠るが如く往生しましたが、長者の願望空しからず代々長者の家に生れ變つて佛に供養をした相です。其後百濟國の王様、聖明王に生れ變りましたが、聖明王の死ぬる時、佛の前に誓願して、今度生れ變るならば貧乏人に生れて、如來に給仕し奉りたいと云ひました。

▽聖明王善光に生れ變る

其後四百八十年の後、如來の佛體は日本の衆生を濟度せられんが爲め、遙々の波路をわけて大日本攝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

津の難波の浦へ着かせ給ひました。頃は人皇三十代　欽明天皇の御宇十三年壬申十月十三日末の刻であります。

我が日本は神國であるのに異國から渡つた佛像を尊敬するとは怪しからぬと云ふので、物部尾輿或は其子の守屋の爲めに、佛像は水中に投げ込まれたり七日七夜火で燒いて、鐵鎚で打潰されやうとしましたけれども、鎚は折れ盤は碎け、御尊體は少しも損じ給はぬので、守屋の爲めに再び難波堀江の水底に打ち沈められました。

茲に信濃國伊那郡麻績の里に善光といふ人がありました。貧乏でしたが正直者で殿樣のお供をして都へ登つた其歸りに難波堀江の邊りを通りかゝりますと、水中から光明赫灼として、如來樣はお形を顯し玉ひ、

「善光善光、我汝を待つ事久し、汝は天竺にて月蓋長者、百濟國では聖明王、今又此國に生れ變りしなり」

と仰せられたので、善光は喜び勇んで如來を負ひ奉り宅へ歸りましたが、固より貧乏暮し故如來を置き奉る所無く、臼の上に安置し奉りました。

其後皇極天皇の御代に、天皇は深く佛法を御信仰になられたので、立派なお寺を今の所に建立させ給ひ、如來を迎へ奉つて、其お寺の名を善光寺と稱されたのであります。

▽嘘か實か、實か嘘か

唯今は太綱學問が進んで參りましたので、地獄や極樂つてものは未來になぞあるもので無いと云ふ人があります。そんな人に聞かしたら、此善光寺樣の由來記もばか〳〵しく思はれませう。けれども地獄や極樂はあると信じてゐる人々は此お話を有難い事だと思つて、眞面目で信じませう。佛法に嘘も方便と云ふ事があります。嘘か實か、實か嘘か、私にはわかりませんが、仄暗い御堂の中、御燈明の奇しくもともるのを見ながら、凝乎と耳を澄してゐますとどうやら此世の中で學問では料られぬ不思議の事もあるやうにも思はれます。遠い死んだ後々の事迄思はせる御堂の中を一廻り歩いて、御堂の外へと私は出ます、空を仰ぎ見ますと空には一點の雲無く、眞黑な山が聲を呑んで御堂の後に聳えてゐました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▽火事で十一回焼けました

善光寺の本堂は皇極天皇の御建立になられた後、十一回火事で焼けました。今の本堂は元祿十三年七月二十一日夜乃ちあの有名な赤穗浪士四十七人の仇打の前の年に焼けました。後眞田伊豆守と呼ぶ當國埴科郡松代藩主が徳川幕府の命を奉じて工事を奉行したのであります。實永四年八月出來上りましたが、それに使つた職人の數は、木工十六萬三千六百二十六工、同手傳二萬四十工、木挽七萬三千六百二十工、同手傳一萬二百工、金子を費した高は、一萬二千九百七十四兩三分六匁余、何とまあたくさんな金ではありませんか。

▽戒壇廻り

戒壇廻りと呼ぶ所は本堂の東脇の方から入る眞暗な穴倉みたいな所です。心の正しくない人が入ると犬となり、又怪しい事が起ると云ひ傳へられてあります。私はもう尠しおぢいさんになつて後生を願つたり、念佛を唱へたりする頃になつてから入らうと思つて、失敬して仕舞ひました。

▽いろ〳〵の名蹟

善光寺はいろ〳〵名高い物があります。佛足跡、地藏尊銅像、地震横死者塚、不動堂、佐藤繼信忠信の墓、太子碑、大佛、爪彫の彌陀等がそれです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

千人塚と呼ぶ所は、殿様の苛政に拂した爲めに殺されの三千人の人民を供養する爲めに築いたのだ相であります。源頼朝公の再建した事もあると云ふ鐘樓も私は見ました。本堂の横手に大蛇の見せ物がありました。涼みがてらの人は其前は一杯たかつてゐました。やしが聲張り上けて、いらつしやいいらつしやい。

▽東京と同じい價格

食ひ物の價格は什麼かと思ひまして、鐘樓の傍の名さへ鐘樓に因んだ大鐘と呼ぶ茶店に入つて私はおすしを食べました。一皿十錢東京とほゞ同じです氷水も同しです。

其茶店の高い座敷の窓から私は蒼い空を仰ぎながら今見て來た不思議なお寺の事を思ひました。人間はどこから生れて來てどこへ死んで行くものやら、何の爲めに生きてゐるものやら、思へば之れも不思議なものではありますまいか、地獄極樂や、佛様や神様が眞實にあるか什麼かは解りませんが、氷水を飲みに來たのか、但しは又氷屋の美しい娘さんを見に來たのか、私の隣り座敷にゐた長野の學生らしい青年達は、佛となぞとは縁の遠い學校の先生の品さだめをしてゐました。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

みはこゝに心はしなのゝ善光寺
導き給へみだのじやうどへ

＊　＊　＊　＊　＊　＊

導き給へ彌陀の淨土へと、一念籠つた曉かの聲で朝夕唱へられたお祖母様の御詠歌を聞きながら、私は育てられた小年でした。だから御詠歌を聞きますとそらあ眞實に懷しうございます。皆様の中にも善光寺様と聞けば耳馴染の方も多ほございませう。其信州しなのゝ善光寺。お傳手があつたら一度は御參詣なさいまし。其道しるべとして、又秋の夜の語り草にもと書きつらねました善光寺まゐり、思ひの外長くなりましたので、嘸あき〳〵なさいましたでせう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

簡易拔ける着物の汚染

曙屋染物工場主　山下榮造

種々の藥品を使つて衣類の汚染を拔く事は甚だ危險が伴ふので一般御家庭にお勸めは出來ませんが汚染に對する適當な應急手當だけは良く知つて居て戴きたいと思ひます、その應急手當と云ふのは先づ揮發油と水とがあれば大概間に合ふのであります、一番樂に汚染を拔き得るのは附着物が固まらない間ですから成るべく速く手當をして汚染にならぬ樣にせねばなりません、夏の汚染は汗に因るものが多いが、汗汚染は一週間位の間ならばハンケチ二枚濡らして汚染の上下に當て掌で叩くと汗汚染が拔けて水汚染が殘るから今度は鐵瓶の湯氣を通して伸ばすとスッカリ拔けます、酒、ビール、サイダー、果物の汁、血等を付けた時も汗汚染を拔く時と同じ方法で拔く事が出來る、又今時子供達が蟬や蜻蛉捕りに使つたり家庭で蠅捕りに用ひたりする鳥もちは屢々衣類に附着する者ですが少々ならば大概揮發油で拔けますけれど澤山付けた時に種油で拭き取つて後揮發油で種油を拭き去るとよい、泥土のハネは乾かぬ間に拭くと擦り込むから良く乾くまで放つて置いて指で彈き出しネルか天鵞絨の布で叩くか拭くと大概綺麗になりますが猶跡が殘つてゐる時は楊子の先を濡らして輕く水を切り其れで彈出すやうに洗ふと綺麗になりますペンキや油を付けた時は楊子かナイフで靜かに取つた後ハンケチか眞綿を適度に揮發油を泌ませて汚染の外圍から圓く輕く徐々に拭き取ると拔けますそれを急に強く拭くと却つて擦り込んで汚ないものになりますから手際よくやらねばなりません。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ゆうぜんの晴着に
しみのできしより
人込ばかり悲しきはなし

＊　＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御相談對手

△分らぬ事は何でもお問ひ下さい。
△字をハッキリ書いて下さい。
▽秘密の事は親展でお送り下さいますか或は直接御面會にお出でなさい。但し婦人部係宛の事。

□糠味噌の蛹

〔問〕新らしい糠味噌に蛹が湧いて困りました。未だ尠しか食べませんのに捨てるには勿體無いし人の話では害にもならんとさゝやましたが、眞實でせうか（新世帶の女）

〔答〕たいして害にはなりませんが、毎日よく下の方から掻き廻して蛹の湧かないやうにしたがよろしうございます。蛹が湧いて仕舞つたならば糠味噌笊で掬ひ取つてお仕舞ひなさい。常に此笊を糠味噌の中に入れ、水の溜らぬやうにして置きますと、味も好く蛹も又湧きません。

□いつそ分れませうかしら。

〔問〕私は二十三歳になる女でございますが、世話する人があつて今の夫と夫婦になつたのでございます。品行もよいと云ふ媒婚者の口を信じたのがあやまり結婚してから間もなく夫の淋毒を受けて、子宮後屈と云ふ病氣にかゝりましたが、其時の私の悲しさは何に比較して見やうも無く毎日〳〵泣きの涙で暮しました、が夫が大變あやまりまして、いろ〳〵慰めて呉れますので二年程前手術して貰ひまして、其儘暮してゐますが、もしや小供の出來なくなるやうな事はありはしまいかとそればかりが心配で、毎日二回宛夫婦とも洗滌してゐます、が未だに子供が出來ません、子供が出來ぬ位ならば女の身として樂しみはありませんし、いつその事別れて仕舞かと思ひますが、什麼したらよろしうございませう、思案に余りましたから御相談申します。其後夫は品行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はよく、病氣も又いゝやうに思はれますけれど。（悲しい野草）

〔答〕甚だ御氣の毒の御身の上御同情申上げます。媒介者の言葉をうかと信じたのが、貴女の御不幸になつたのでございますが、其爲めに分れると云ふ事は、結婚後三四年の過ぎた今日では不用な繰言のやうに思はれます、御主人が其爲めに謝罪もし慰めもして呉れるとあらば、そんな事はもうお思出にならない方が貴女の爲めにも又貴女の家庭の爲めにもよろしいかと思ひます

お子さんがお出來にならないから去りたいと云ふ事も、事情を考へて見ますれば御同情

白耳義國の哀れなる小供達を救ふ爲めに開かれたる慈善市

申上げないわけにはまゐりませんが、然しお子さんがお出來にならぬとしかと定つたわけではありますまい。結婚後四五年子供の出來ぬ家庭も世間にはいくらもあります。病氣の爲めかと云へば、淋毒性子宮後屈と云ふ病氣は全く子供の出來ぬ病氣ではありません。或はあまり毎日洗滌なさるからではありますまいか、御病氣の經過がよろしいとの事故、二年過ぎた今日ではお止しになつた方がいゝかもわかりませんあまりくよ〳〵御心配な

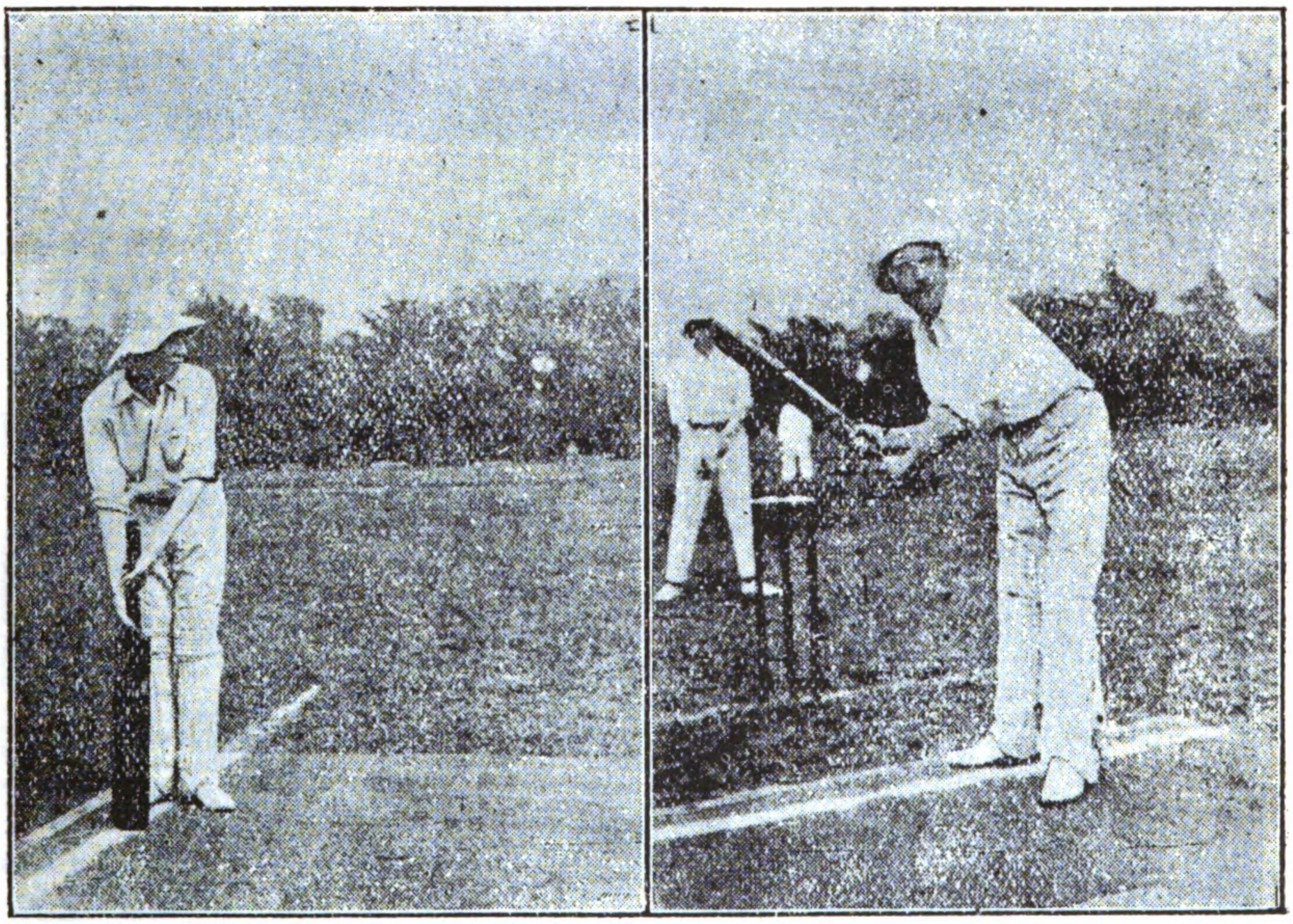
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さらずに眞心を籠めて夫を愛してごらんなさい。くよ〳〵心配したり、夫に對して愛情が薄かつたりしますと、子供の出來ぬ事もあります。

□肺炎で死んだ子供

〔問●〕去年長女が肺炎で死にました。衣類をいつしよに燒き捨てるも惜しいと思つてとつて置きましたが、今度生れた子に着せても支障ありませんかしら。（本所の母親）

〔答●〕一年經過しましたから支障無いやうにも思はれますが熱氣消毒をなさつた方が御安心の爲めにもなりませう、自分で出來ねば市の消毒班に賴みいくらかのお金を拂へば、安心の出來ます消毒をして呉れます。肺炎菌は傳染するもの故、去年長女のお亡くなりの時に、其持物は消毒せねばならなかつたのです。あなたのお宅で傳染せんでも、他のお宅の小兒達を犯さないとも限りません、充分公共衛生をお守りにならん事を望みます



クリケットの競技

□鐵瓶の湯垢をとる方法

〔問●〕鐵瓶に湯垢がたまつ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て困ります、害になりませんかしら、それをとるには又什麼したらよろしうございませう。（荏原支部の會員）

●〔答〕害になりません、却つて金氣が出ないで好いと云つてる人もありますそれでも除きたいとあらば百倍の苛性曹達水を煮てごらんなさい。鐵瓶の金氣をとるには、米糠小豆米の磨汁等を數回煮てごらんなさい。不思議に金氣が止まります。

□□上京したい

〔問〕●私は田舍の製絲女工ですが、東京の鐘ケ淵紡績會社は大變工女に叮嚀でそして給金も多いと云ふことを聞きましたから上京して其會社に勤めたいと思ひますが何時でも入る事が出來ませうか（ゆふがほ）

●〔答〕何時でも入ることは出來ませうが、東京に知已親戚などありますか、質問の〆切毎月五日

紋染の御稽古

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○○○

たが、やがて日頃大切にしてゐました、自分の巾着を取出しまして

『お金がほしくば之れをあげます兄さんを助けて下さい』と、泣きながら頼みました。其お富の泣顔を凝乎と睨んだ賊の首頭、

『何でい之れっぱかしの金、之れは全體何の金だい』

『お年玉に貰つたお金です。』

『お年玉の金なぞが何で役に立つもんか』と背高盗賊は怒鳴つて巾着をがらりと投げ出して

『さあ金のありかをさつさと吐かせ吐かさぬと今度こそは眞實にばさりと殺して仕舞ふぞ』と凄い事を云つて、仁三郎の背をびしりと打ちました。

『あつ兄さんが！』と叫びながらお富は兄の前に自分の身を投げ出して。

「さあ私を殺して、兄さんを助けて下さい」

其兄思ひの優しい健氣な言葉を聞いて、賊共はお互に顔を見合せましたが、やがて一錢の金もとらずにこそ〳〵と逃げて行きました。お富の誠心に照らされて自分達の曇つた心が耻しくなつたのです。

惡い事は出來ぬもので、其年の冬此賊共は召捕れましていろ〳〵の惡事を白狀しましたが、其中にお富の話をもしまして、

『今迄隨分惡い事と云ふ惡い事はしまして、もう惡い事を別に惡い事とも思はなくなつたが、あのお富坊に逢つた時だけは、眞實に自分の惡事をはつきり云はれたよりも猶は辛うございました。』と云ひました。其事を聞いた役人も感心して其眞實であると云ふ事を探つてから、お富に金を與へて賞められました。其事を又聞いた炭屋彦兵衛と呼ぶ金持が又大變感心してとう〳〵お富を自分の養女に貰ひ受け、其後、お富兄妹は力を併せて、宅を父親の生きてゐた頃より も立派に繁昌させ阿母さんを喜ばせた相であります此お話は嘉永元年、今より六十九年前のお話です誠心の一念、八歳の少女が賊を走らす。又尊い事ではありませんか

＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎秋が來ました

市原幾代

快い秋が來ました。さはめいてゐた世の中が何となく靜かに、生暖く吹いた風はひんやりと訪れ梨の味がおいしくなつて來ました柿だの栗だのを故郷の人達が送つて下さるやうになるも、もう間も無い事でせう。秋に關したお話をしませう。

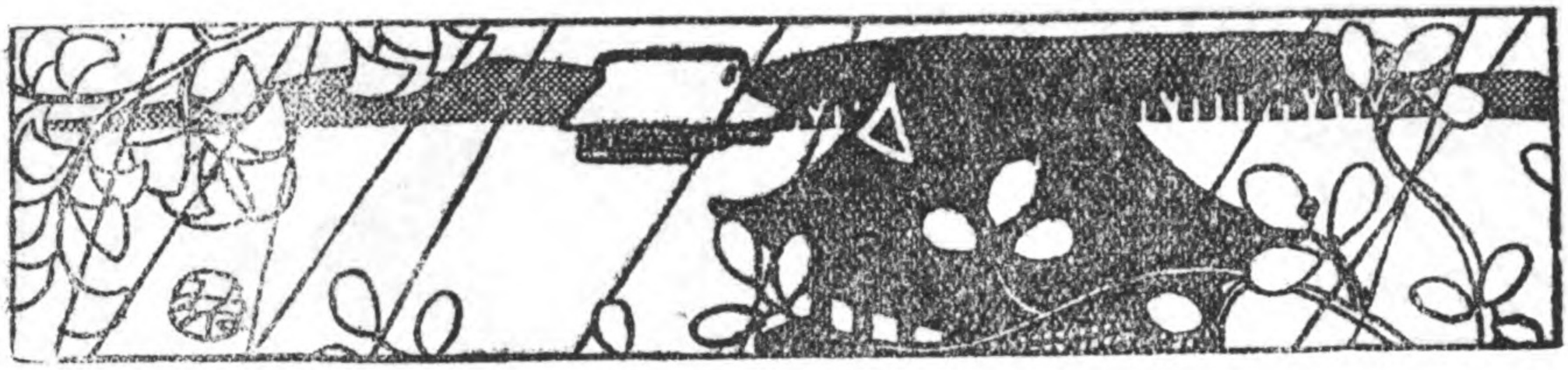
▽△柿

柿は日本の國の特産物です、アメリカやフランスで柿の種を蒔いて見ましたけれども出來が惡い相です、日本の國なら何所でも柿の出來ぬ所はないが、わけても埼玉山梨、滋賀、佐賀、奈良、高知、廣島、福島、山形、新潟の各縣で産する甘柿富有天神御所次郎柿正月柿御所柿禪寺丸澁柿西條柿堂上柿蜂屋柿富士衣紋柿などは大層好いと云ふ評判です、寄宿舍あたりで、方々から來た柿の味を較べて見るなども又面白いではありませんか。

▽△蟲の音

さらぬだに秋は悲しきものなるに、哀れを告ぐる蟲のこゑ〳〵と云ふ古歌がありますが、秋の蟲の音程涙を催はせる迄に悲しく聞えるものはありますまい、それだけに又人の心をしんみりとさせますわけて人に賞せられるのは松蟲鈴蟲でせう、ですから、昔から人工孵化を盛にやつてゐます、其方法はどんな風にしますかと云ふに、前の年に雄雌一番を、捕ひて赤土を細かく碎いて砂にまぜたを入れた壺の中に放ち飼ひにして胡瓜茄子梨などの餌を與へて、笹や篩で蓋をして置きます。交尾後、其親蟲の死んだ頃を見計つて壺は厚紙で蓋をして藁や繩を卷いて寒さを防ぎ土の中へ埋めます。翌年の寒の明ける頃に壺を出して、其中を薄く水を撒いてやつて、太陽の光で陰乾にします、そして又元の土の中へ埋めます、そんな事を繰返してやつてゐますと、三四週間の後に蟲の赤ん坊が卵をわつて現れます、而したらそれに松魚節の碎いたのや麥焦しやらをやつて育てます、可愛い聲を上げて歌ひ出すまではそれから二月も後でせう。生物を育てゝると云ふ事はなかなかうまくはゆかない相ですが、自分の手で蟲を孵してやると云ふ事はなか〳〵面白い事でせう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

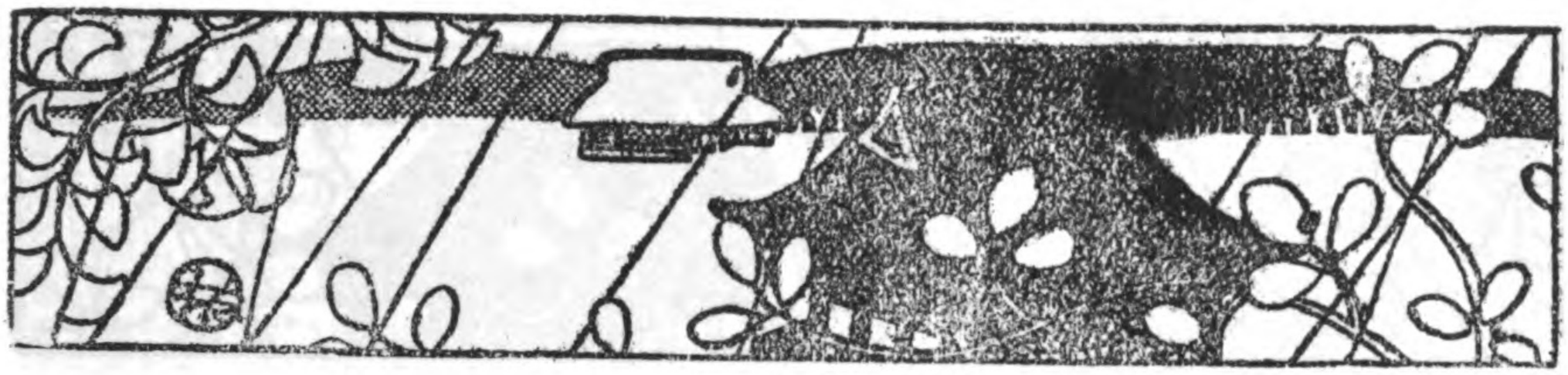


九月の手紙

▲記者より會員諸嬢へ

月の澄めるを見ても、水の冷えゆくを味つても、木の葉の黄ばみ初むるを眺めても、考へるにふさはしい、秋の來たのが感じられます。故郷を離れて遠く旅路にある人々は定めしいろ〳〵の思ひが胸に溢れませう。話して見たい事のかず〳〵、しかも身は山河何十何百里の外。話す事も聞く事も會ひ見る事も出來ませぬ、其時にせめて心やりとするは深き思ひを籠むる雁金のおとづれ、手紙のやりとりをする事でせう、其手紙を書くお手助けにもと思つて毎號此所に記者は筆をとつてゐるのでございますがなかには自分の書きたい思ひの參考にもならぬとお怨みになる人のないでもありませんと思ひます　そんな人は何卒こんな事を手紙に、こんな思ひを書くにはと本部に御通知を願ひます。本部の二階から見ますれば無果花の青き實が次第とふくらみ行きます、あゝ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



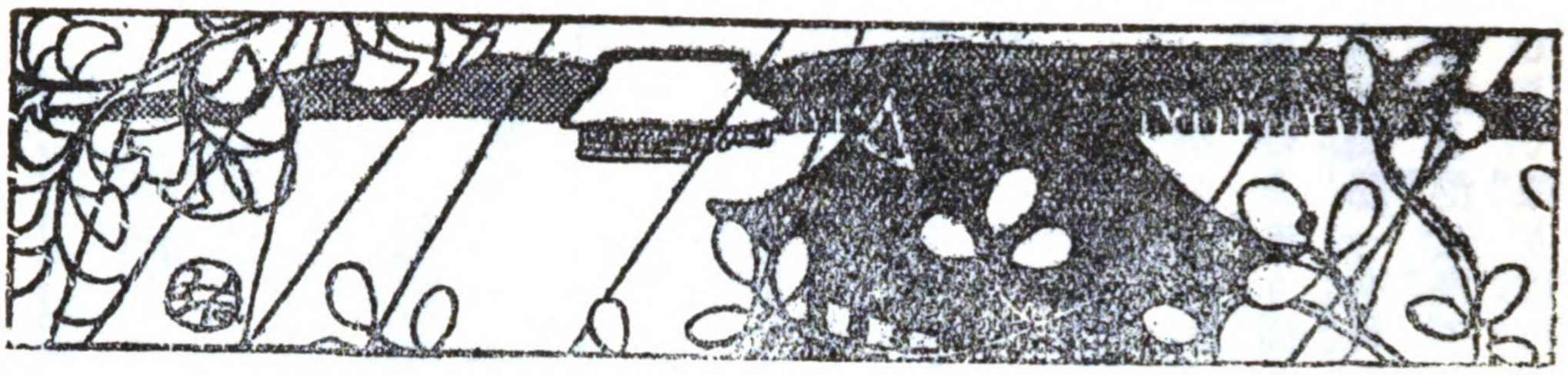
秋が來ました。嘸皆様も働きよくなつたと思ひます、健にお働き遊ばせ。

▲引越し先より

此町に來てから何が何やらわからずにゐる間に二月過ぎて、新らしい町の秋を迎へる事となりました。お變りはありませんか、旦那様も無事でおつとめでゐらつしやいますか、良人は壯健で働いてゐます、私も身體は丈夫でございますけれども、心はあなたの傍だのに飛んで行つてゐます、そんなに以前の町だのならばお前だけ元の所へ歸れつて此間も良人に笑はれました。去年の秋は山狩に行つて面白うございましたつけね、今年は方々から集つて來た人達ばかりですから近所の人達にも親しみが出來ませんので面白い事も無さ相です、だから何所へも遊びには行きません、其代りあなたに會いに行く事に良人と約束しました。其日が待ち遠しうございます、いろ〳〵お話したい事もありますけれども、いづれ御面會の節。かしこ

▲御無沙汰の詫び手紙

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



もおかどり鎌はに上と月ぞはる

拝啓殘暑未だ去り難き節御一同様如何御暮し遊され候や、月を見の夕べ花を見るの朝、あなた方の事あなた方の美しいお庭、扨てあなた方のお宅で見た故郷の山河なぞ思ひ出す事も度々、手紙なし差上げてと思ひし事もかずかず候ひしが、何かに取まぎれ永い歳の間心ならずも御無沙汰仕り、嘸かし失禮の女とおさげしみの事存じ候へども、不束の罪お許し下されたく、幾重にもお願ひ申げ候。今年は五風十雨、日の照り方工合もよろしく大豊作との事候へば、定めし皆様方もお喜びの事と推察仕り候、農家の生活とは全く離れ居り候へども、幼き事の思ひ出る度毎にも手にとりて見たく、菅笠も冠りて見たく候。都は田舎とは土一升金一升のせち辛き所にて候故、畑とすべき所とて無之候へも、故郷戀しき一念にて庭の片隅に名ばかりの畑をこしらへ、僅に心慰め居り申し候。故郷を慕ふ女の心、哀れと思召されて何卒便り下されたく、故郷の事ときかば、如何にさゝやかなる事にて、私は嬉しく感じ申す程にくれ〳〵もお賴み入り申し候。先づは御無沙汰お詫びかたゞ〳〵お願ひ迄、かしこ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

臺所講話

お料理

記者

▽煎豆腐

豆腐を細かに揉みくづし二合位の水を加へ、良くかきまぜ火にかけ、一度煮沸して手早くかきまわし、笊に布巾を敷きてあげ水氣を絞り更に鍋に移し、煮出し汁砂糖醤油を入て汁のなくなるまでかきまわす。

▽胡桃豆腐

胡桃二合ばかり湯に浸してあま皮をむき去り擂り鉢に入れてよくすり葛粉一合程を水三合ばかりに溶き混ぜ裏ごしにかけ鍋に入れてよく煉り重箱にぬれたる布巾を敷き込みて流し入れよく冷して後適宜に庖丁なし器に盛り小猪口に橙酢を入れ青紫蘇のせん切りにしたるを添へて供す。

△じやがいも

馬鈴薯を才形に切り、鹽少しを入れ、ゆで笊にあげ置き、魚の身をすり、煮汁にてゆるめ、玉子の白身を入れよくすり味をつけ、これへ薯を入れ、魚の身にてくるみ一つ一つ油にて揚る。

△茄子えび山かけ

えびは鹽茹でにして皮をむき細かに切り置き茄子は皮をむき堅に二ツ切りにして（大なるものならば四ツ位に切る）共に味淋砂糖醤油にてゆる〳〵煮込み椀に盛り別に山薯をおろしよくすり砂糖と鹽とにて薄味かげんをなし上よりかけおろし柚子を添へて供す。

△隱元豆の落化生あへ

隱元は蔓を取って煮出し汁砂糖にて普通の淡味に煮、別に一旦煎つた落花生を布巾に包み石にて碎き摺鉢で摺り煮出し汁味淋にてゆるめ隱元を加へる。

▽神鳴ぼし

白瓜の上下を切りすて、種をぬき、よく洗ひて、切口より竹をさしつらぬき蠟燭の如くし、これを俎板にのせ、庖刀にて長くつゞく

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やうに、ぐる〳〵とまはしながら切りて、鹽水につけ、その鹽水のまゝ炎天に干す適宜に切りて香物とします。

△冬瓜のそぼら

冬瓜の皮を去り、心を棄て、適宜に切り鳥の挽肉を煮たる汁で煮込み冬瓜を取出してから水溶きの葛を薄くかけドロ〳〵にし器に盛つてから其汁をかけて供す。

△さつまいものあんかけ

甘藷の皮をむき五六寸位の輪切りになし清水に取り　再三水を取換へ灰汁をぬき蒸籠に入れ程よくむし器に盛り別に醤油に少量の砂糖を加へ沸騰せしめて其量の二倍の煮出汁を混ぜ水溶きしたる葛粉を流し入れてねりたるあんを前の材料の上よりかけおろし生姜を添へて供す。

▽鳥のやはらか煮

鳥のやはらかき、骨ぐるみ、ブツ〳〵に切り柔かになるまで茹で味淋と醤油と砂糖にて味をつけ、サラダ菜をつけ合せて侑める。

▽牛肉ぶた煮

よき肉を厚味に切り、うら表をたゝき、油にていためて、味淋、酒にて煮出しを入れ、よく煮て、醤油少量を入れ、味噌をうら漉しにかけて、つゆのつまりし折に、味噌を入れ、とろとろにしておろし胡椒をかけて侑む。

▽鮎のからしぬた

鮎を三枚におろし薄肉を去り小骨を除き細かに庖丁して酢につけ次に茗荷を縦に細く庖丁して酢につけ暫く置き後しぼり前の鮎と共にからし酢味噌にて加へて供す。

▽玉子しんじよ

玉子を摺鉢の中に破り好く摺り其量の十分の一ほどの葛を水で溶いて加へ好く摺り味淋と醤油を加へて程好い加減に味をつけ蒸籠にて蒸し椀に盛り、淡葛餡をかけおろし生姜を添へて出す。

▽蓼の酢落し

鰺を三枚におろし一鹽あてゝ二ツ折にして串をうち、遠火にて焼きしを器へ入れ、煮汁三杯、醤油半杯、煮切少量入れて、汁の煮えあがりしとき、酢を加へ茶椀へもりて、生姜い絞り汁を落して侑めます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

無いものづくし

坂本正雄

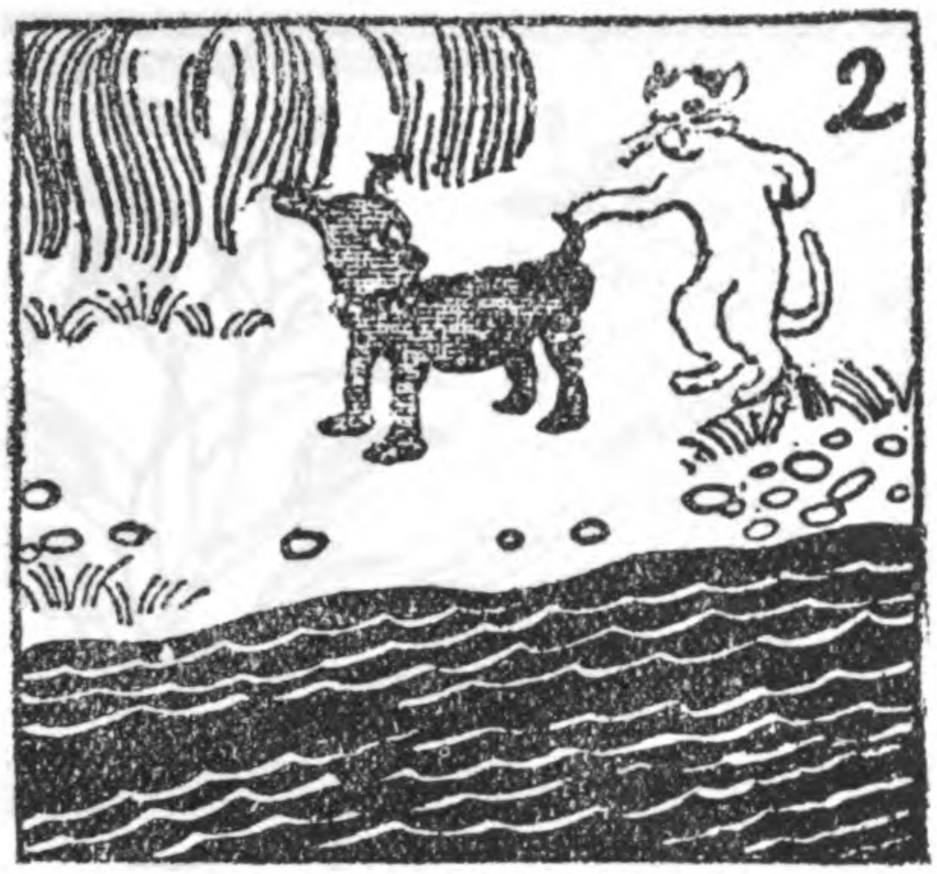
記者が或る本を讀んで居ましたら、次のやうな歌がありました、すこし直して玆に掲げます。

さても無いく、無いものづくし
何が無いかと、尋ねて見たら
學問した人、馬鹿がない
なまける馬鹿には、智慧がない
智慧のない人、金がない
花のいゝ木にや、實がならない
早く咲く花、よく持たない
肥料がよければ、滓がない
理想が高けりや、墮落しない
急がぬ道には、怪我がない

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氣落ちをするもの、よく出來ない
出世するのは、容易でない
一心こもれば、邪魔は無い
やれ無いそれ無い、本當に無い
扨も無い〳〵、無いものづくし
何が無いかと、尋ねて見たら
聖人やたらに、威張らない
賢人なか〳〵、高ぶらない
譯なく怒るは、情けない
恩を知らぬは、人でない
情を知らぬも、人でない
卒業免狀、たゞ取れない
弱者いぢめは、見ッともない
勉强さへすりゃ、損がない
今の世の中、家から無い
誰でも馬鹿なら、仕方がない
馬鹿の相手に、なる者ない
やれ無い、それ無い、本當に無い。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



犬と猫

（オトギバナシ）

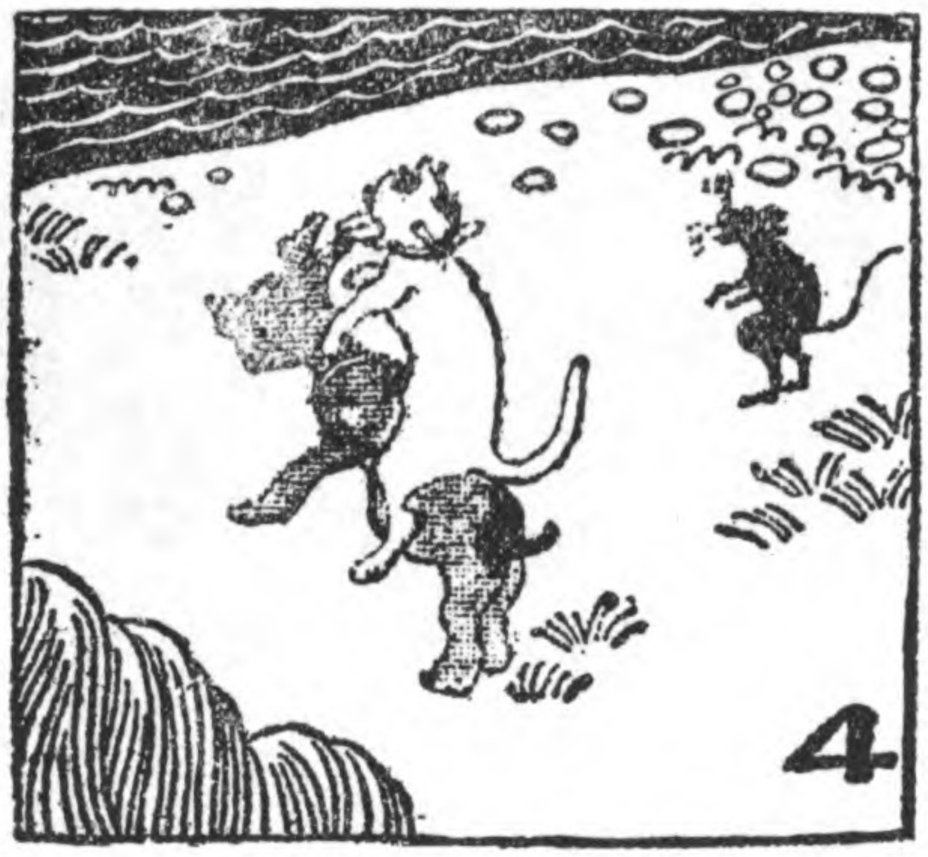
一

むかしむかし、ある爺さんはお城の傍の河つ縁で小さな居酒屋を開いてをりました、爺さんは先祖から持ち傳へた大事の大事の盃を一つ藏つて居りました、ある日の事それを洗はうとして河つ縁へ出た拍子に、誤つてそれを水の中へ取落しました。

二

盃は琥珀といふ珍らしいもので拵へてあつて、滅多に手に入るものではありませんから爺さんは涙を流して惜しがりました、すると平素爺さんに可愛がつて貰つてゐる犬と猫とはこんな時に御恩報じしなければならぬと二匹一緒に家を出て、其邊を探し廻りましたが一向に手掛がありません。困つたな猫さん、お互にあの盃を探し出さないでは迚も家に歸れないぢやないか、これから一つ向う岸を搜さうか』と犬と猫とは河を泳いで向う岸へ渡りました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



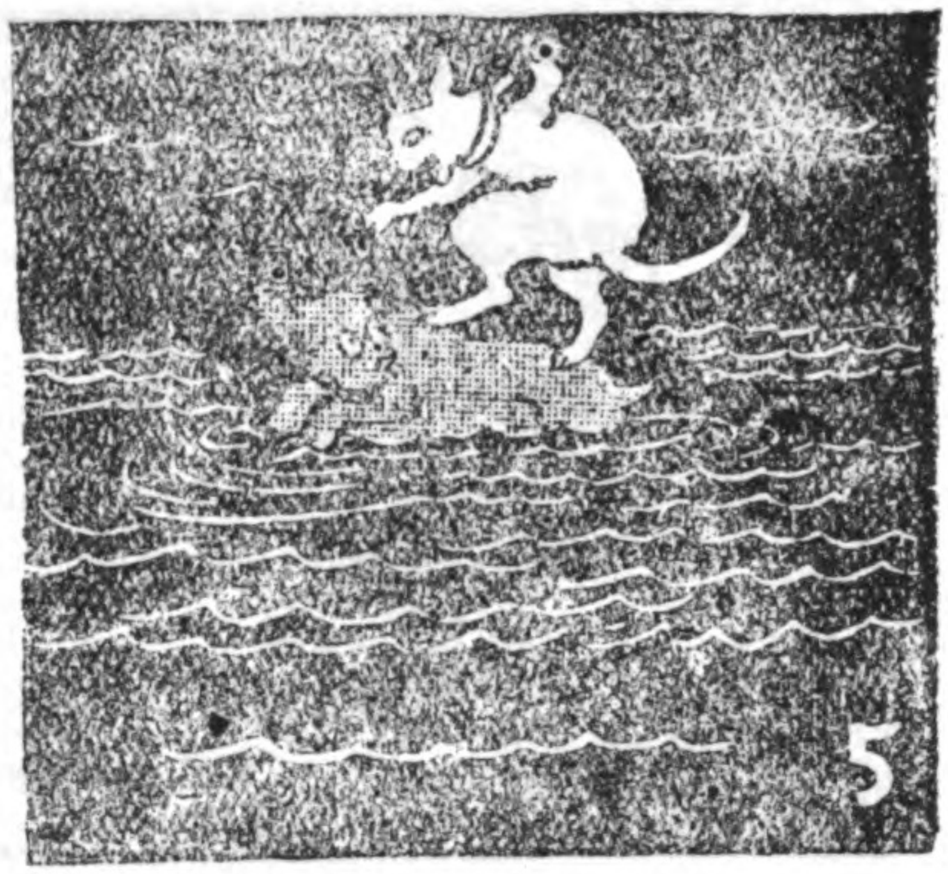
三

向ふ岸には美しい柳の木が繁つてゐました、犬はその柳の木の下に立派な大理石の箱が落ちてゐるのを見つけました、そして鼻て嗅ぎますと、失くなつた盃は確に其の箱のなかにありますが、犬も猫も其の箱を開ける事が出來ません、そこで鼠を頼んで來て向ふ十年間は猫も決して鼠を捕らないからどうぞ此の石の箱を嚙み割つて呉れと犬と猫とはお辭儀をして鼠に頼みました。

四

鼠は鬚を捻り〳〵『さういう事なら今度だけ願ひを叶へてやらう』と大威張で箱を嚙み割りました、すると、なかから琥珀の盃が轉がり出したので犬と猫とは大喜びに喜びました、そして『さあ歸らう』といふことになると猫はその大事な盃を口に啣へて犬の背に跨がりますと、向ふ岸でそれを見てゐた子供連が大なる聲で『やあい〳〵』と笑つたのでで、猫も思はず笑ふ盃とはまた水の中に落ちました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



五

犬は盃がまた河の中へ落ちたのを見ると、もう猫のことなぞ構つてはゐられませんから『馬鹿猫め、飛んだ事をする』とづぶり身を沈めて盃を取りにかゝらうとすると猫は一生懸命犬の背にかぢりついて鋭い爪を立てゝ暴れまはりますので犬は『あゝ痛ッひどい事をする』と猫を背からもぎ離さうとするうちに盃はとうとう底に沈んで了ひました。

六

さうかうするうち、猫はやつと岸まで泳ぎつきました、犬もあとから岸へ上つて猫を引つ捉へて酷い目に遭はせようとすると猫は素捷くそこにあつた樺の木に登りました、犬は追つ駈けて其處まで來たものゝ、木へ登る事が出來ませんから下から怖ろしく吼え立てました、爺さんは其の聲を聞きつけて内から出て來て宥めましたが、何方もいふ事を聞きません、犬と猫とは夫から仲が惡くなつていまだにいがみ合つてゐます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

滑稽小話

奥さまの避暑

茶目坊

お金の使ひみち

「此所に使つてもいゝ金が百圓ある。これをどんな風に私が使ふかそれがわかれば嘸喜ぶだらうなあ」と御主人が云へば、奥さんは眼を輝かして、

「まあよかつたこと、嘸喜ぶでせう。永年の思ひがやつと届いたんですもの。」

「全くだ、お前も嬉しいだらう。」

「嬉しうございますとも。」

「先づ一人頭十圓宛割り當てるんだな、左樣して余つた金は年功の割に……。」

奥さんは狽てゝ、

「貴公其金を全體什麼お使ひになるのもの。」

「定つてゐるだろう。奉公人に利益配當するのさ。」

奥さんは眼を丸くして、

「まあそんな事にお使ひになるの」

「何だい、お前不贊成かい、今嘸喜ぶだらつていつたばかりぢや無いか。」

「私は又嬢の着物をこしらへてやつて、それから三人で海水浴に半月計り行く事かと思ひましたわ。」

「なあーんの事だい、それぢや嘸喜ぶでせうと云つたのは自分の事かい。」

奥さんは顔を赤めて、

「いゝえ、私ぢやありませんわ。嘸嬢が喜ぶだらうと思つたのですわ。」

「なあーに五ッや六ッの子が喜ぶも何も無いぢや無いか。それに汗水たらして働いて居る奉公人の手前もあります、呑氣らしく海水浴なぞに行つてゐられません。」

奥さんは顔をしかめて、

「でも貴郎、もう五六年も前から海水浴に連れて行く連れて行くつて被仰つたぢやありませんか、私近所の奥さんとお話をする時だつて、何處へも出ないもの故、お

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

話が合はなくつてきまりが惡うございますわ。」

「いけません、奉公人に何と云ひます。自分が先になつて遊ぶやうでは、奉公人に向つて一生懸命働けとは云はれませんの。」

奥さんは鼻聲になつて、

「奉公人になぞは、故郷へ大病人が出來たから行つて來ると云へばよろしうございますわ。それに使つてもいゝ金が出來たなぞとは知りませんもの。」

「いけません。奉公人が働いて呉れたればこそ出來た金ですから、それを自分達の贅澤の爲めに使つてはいけません。」

奥様は泣聲になつて、

「では貴郎は奉公人の爲めばかりを思つて、私や孃は可愛いと思はないんですか。」

宮内省の電話交換手

「いゝや、何と云つてもいけません。」

何と云つてもいけませんの。」

口では云つたが此旦那様腹の中では案外左様では無いと見えて、とうゝ奥さんの涙聲で陷落し、三越に行つて娘の着物をきばり、それを娘に着飾らして其着飾らして娘を見せびらかしに、海水浴へ行く事となつた。奉公人には故郷に大病人が出來たからと云ひつくろつて、一歩門を出ると奥様は旦那に向つて急しい聲で、

「貴郎、お鍋が變な顔をしてにや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

〈笑つてゐましたよ、海水浴に行くつて事を感付いたのでは無いかしら、眞實な厭なお鍋だねえ」

お金を棄てゝ苦しむ海水浴

海水浴に來てから六日過ぎた。

「ねえ貴郎歸りませうよ」と奥様は御意遊される。

「何だいもう里心がついたのかい、未だ來てからたつたの、六日だぜ。」

「あき〳〵してしまつたわゝ、これぢやまるでお金を捨てゝ苦しみに來たやうなものぢやありませんか。」

「そんな事云ふない、俺も實は暑くつて堪まらんと思つてゐた所だ、そんな事云はれると余計に暑くなるよ。」

女子大學で大隈さんの演説

「暑いのは當り前よ、いくら客が込合つてゐたからつて、こんな狹い座敷に押入れてさ、それに障子をすつかり閉めて置くんですもの。」

「おいく〳〵俺に向つて怒つたつて仕方が無い。俺だつて宅で一生懸命働いてゐた方が氣持がいゝや、同じい汗を出すにしても、汗の出やうが違ふよ。」

「それに何を買つても高いしおまけに此子を海へ入れたら鹽水を飲んだせいか、腹下しを初めたぢやありませんか。私たつて、……」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「お顔が眞黑になつたんだらう、それなら時々承つてゐますよ。」

「歸りませう歸りませう、こんな位ならお金を奉公人に分けてやつて、其喜ぶ顔を見た方がどんなに氣持がよいかわかりませんわ。」

「まるで俺に怒つてゐるやうだな誰だい、是非海水浴に來たいと云つたのは」

奥さんはそれには答へずに、丁度其時三味や太鼓で浮れてゐる座敷の方を向いて、

「まあ騒々しい、何て騒ぎだらう、成金奴」と口惜し相に怒鳴つた。奥さんが海水浴に來て、其御意に逆つた物はいろ〳〵あつたが其中で一番氣に食はないのは、大成金の連中が子供を綺麗に着飾らして連れて來てゐるので、折角見せびらかしてやらうと思つた自分の子の見せ榮えもない事なのだ。

で、とう〳〵宅へ歸る事になつて停車場に行く道すがら、路傍で遊んでゐた大成金の美しく着飾つた可愛らしい女の子を白眼で睨んで

「何てまあ憎くらしい子でせう。」

お金を持つて逃げた奉公人

宅に歸ると、お鍋が飛んで出て

「奥様大變でございますだ。吉どんがねお金をかつさらつてつん逃げましたよ。」

奥様は吃驚して仕舞つて、

「何つて惡い奴だらう、何だつて又そんな惡い氣になつたんだらう」

お鍋はすました顔をして、

「吉どんは云つてゐましたよ、一生懸命奉公人ばかり働いてゐたつて、御主人は何をしてゐるかわからないだつてね。」

奥さんは眼を丸くして、

「何て生意氣なんだらう私共はね大病人の爲めに夜の目を寢ずに看病してゐたんだよ。」

「そらあはあ大ごとだつたゞねえでもおかしいだな。」

とお鍋は太い首を振つて、

「吉どんがつゝ走つたゞで電報の打ちましたゞが、ちつとも返事來ないだでね。」

奥様は旦那様と顔を見合せて、お鍋に聞えないやうに斯様云つた

「ねえ貴郎、海水浴になぞ行くんぢや無かつたはね。」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

懸賞字探し

（此女の方は何と何とをしてゐるのでせう）

注意

一、答はハガキ住所姓名はハッキリ書いて下さい

二、締切は九月十日

三、正解者には十名に本をあげます。正解者澤山の時はくじびき

四、宛名は東京三田四國町友愛會婦人部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前號の懸賞解答

▲はめ字▲

(一)あさが[旺]の花

(二)すゞ[み][臺]の上

(三)か[や]の中

□當選者□

正解者百五十六名の中左記の方が當選なさいました。

保土ケ谷 阿部ハル　福島縣 堀江スヲ
本所 末永はつの　平駄ケ谷 能一ゆき子
小石川 大橋ふき子　東京モス 安達リヤウ
王子 中山ゆき子　大坂西野田 齊藤キミ子
本所 前田愛子　保土ケ谷 越後屋キヨ

▲考へ物▼

(イ)人の身體の中に果物があります、何ですか(もゝ)

(ロ)わたしの家には怠け者は[い][ぬ]

□當選者□

正解者二百二名の中左記の方が當選なさいました

大井 小島よし子　王子 大野ふく子
深川 八重子　本所 藤田愛子
内郷 柿沼フミ　請地 古川花
保土ケ谷 中村スイ　本所 石田きよ子
京都 吉田フク　仙臺 平野とく子

＊　＊　＊　＊　＊

今月は字探しです、どし〳〵御投書下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短文

友愛文藝

（一等）初秋

都にて　渡邊たけ子

星がチラチラ煌いてゐましたつけ、私共は泣きました。泣いたとて仕方がありません、私は旅と云ふ所へ出たかつたんですもの、それでも信ちやんとは別れるのが辛くつて泣きました。星の煌く夜は信ちやんの事を思ひ出します。ひえふうみえ、あの星が信ちやんかしら、小さい時分私達は自分の星を定めてゐましたつけが、もう思ひ出されません。

東京へ來て、五度目の秋風が又吹き初めました。秋になると屹度私は信ちやんの事を思ひ出します。

（評）スツキリした筆が初秋の懷しい心を書くにふさはしうございます。

（二等）最初の悲哀

勿忘草

由坊は二時頃になると毎日定つて氷のぶつかきを持つて來た。おかしいと思つて注意して見ると、近所の鐵工場の職工から貰ふのであつた。

鐵工場で氷を出すは其職工の爲めを思ふ故であらう、近所の子供に呉れる爲めでは無い、職工さんは御親切に下さるのであらうが、それを由坊に貰はしては惡いと思つて、「由雄はいゝ子だからね地所の叔父さんから氷を貰つてはいけないわよ」と云ふと、由坊は眼を丸くして「何故」つて聞く。「何故でもいけないわよ」「だつて」と由坊は鼻を鳴しながら「呉れるのを貰つても惡いの姉さん」と云ひながら、美まし相にお友達が垣根の外から氷を貰ふのを見てゐた。私は急にいじらしくなつて、由坊を犇と抱き寄せた。此子も大きくなるとだん〳〵こんなわからない悲哀に出逢ふであらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私は今世間の義理で出戻り中である。

（評）お終いの一句、全文を活しました。

（三等）病葉　程ヶ谷　とみ子

恐ろしい入道雲が無くなつて、淋しい千切れ雲のふわ〳〵浮いてゐるやうになりました。斯様して床の中から空の色を見てゐますとね、秋になつたのが一入早くわかります。今朝初物だつて小さな柿を叔母さんが送つて呉れました。柿の實る頃にはよくなるつてお約束したのに、何故私の病氣はなほらないんでせう、もう一思ひに死んで仕舞ひたいやうに思ひます。櫻の枝にも病葉が一ひら三ひら見え初めました、あの病葉と共にもしやと思つて心細うございます。昨夜お出で下さいましたばかりなのですが、悲しくて堪りません。から、是非ね何卒

（評）嘸お悲しゆございませう、此手紙を受取つた人は直ぐお見舞に行かねばなりますまい。

◎窓の外

保土ヶ谷　土居藤子

淋しい雨がシト〳〵と降つてゐる。夕暮の悲しい光が寄宿舎の窓から流れ込む。しめつぽい疊の上に足を延して小説を讀んでゐた私は顔を上げて外を見た。思ひ思ひに我家をさして工場歸りの男女の職工さんたの蛇の目傘や蝙蝠傘が小さくなつて行く。それを眺めてゐると、薄暗を縫つて來る絲の樣なかなしい尺八の音が窓を襲ふのであつた。それにつけても故郷にまします御兩親や妹は什麼してゐるであらう。

和歌

王子支部　中山ゆき子

鏡みて諸人心つくろへば
いかに鏡は嬉しかるらん

艱難は人を玉にする云ふ
つとめはげめよ骨身惜まず

荏原支部　山田幸子

歌の主誰とはしらずなつかしむ
尾花の中を行く小原ぶし

かめの水流るゝほとり明石燒
ひさぐ家あり朝顔の花

王子支部　黒川房子

小しは無理と思ひる役人の
叱る言葉も身の爲とぞ思ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

俳句

本郷　柿崎榮子

葉櫻の木蔭涼しき夏の朝
夏の風涼しくなりて秋近し

荏原支部　山田さち子

ひるねする山家にさびし鳥の聲
亂れもに魚の影見ゆ夏の池
蚊柱や若竹伸びて月清し

小石川　長谷川ヒサ子

夏の月窓から蚊帳を覗きけり
蜘蛛の巣を又張直す夕べかな

保土ヶ谷　土居藤子

神鳩の羽風に戰く若葉かな
行燈のへなぶる歌や火取蟲
買はされた安醤油や蚊喰鳥

選後に

友愛文藝も今月から等級を定めて左記の通り賞をつける事としました、夏は暑いせいかあまり振はないやうです。皆様の御奮發を願ひます。

懸賞募集規定

▲短文（一人一篇）一行二十字詰十行以内
▲和歌（一人五首以内）
▲俳句（一人十句以内）
▲一口ばなし（一人二文以下）
▲賞金　一等各一人（一圓）二等各一人（五十錢）三等各一人（三十錢）
▲締切毎月十日

注意

投書は女子に限る事、用紙は半紙へ書く事、住所氏名は明瞭に書く事、宛名は東京三田四國町友愛會婦人部

倶樂部

◎お暑い折柄ですけれどもお變りなき事と思ひます、どうぞ皆樣一生懸命暑さにも負けずにお振へ遊ばせ（野坂とし）

◎稻葉先生は御病氣でいらつしやますつて、承りまして驚きました、其後いかゞでゐらつしやいますか、お伺ひ上げます（須藤のぶ子外十二名）

◎有難うございます、稻葉さんは今信州の山の中の溫泉で發生してゐられます、皆樣によろしくとの事でございました。お見舞狀はみんなお送りしましたから、多分御返事があつた事と思ひます（記者）

◎此投書の出る頃はもう秋ですわね、記者樣山の中へでも遊びにいらしやいませんか、眞黑な山の風情をお目にかけませう程に。（盤城にて　よし子）

◎はい〳〵有難うございます。（記者）

◎記者樣、賞品有難うございました。（長谷川ヒサ子、黑川房子）

◎暑中御見舞申上げます。（山田さち子外四十九名）

◎御同樣に暑くつて閉口しましたれ、然しもの秋になつてホッと安心しました。暑中見舞を戴いた方には一々御返事を出しましたが、此所で改めてお禮申上げます。（記者）

◎思つて見ると私程悲しい人はありません、たゞ友愛婦人を力草にしておぼつかなくも活きてゐます、身の上話を書き送りとうございますが、見て戴かれませうか（大阪の一工女）

◎お送り下さい拜見しませう、勝れてゐましたら誌上に載せます。他の皆樣も何かあつたら書き送つて下さい。（記者）

◎會員の皆樣のお寫眞を拜見いたしとうございます（利根かつ子）

◎承知しました、先づあなたのお寫眞を送つて下さい。（記者）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎婦人部便り

左の方々は新らしい會員になられました。皆様に歡迎して載せます。

●荏原支部（四十八名）

鈴木ハル　若村フミ　齋藤シゲ
小關モト　渡邊キク　梅澤ハル
武川しげ　脇坂キヌ　小宮清
掛川フミ　田中鶴　山口フミエ
岡崎八重　大田キヌ　鈴木マサ
山西スヾ　角倉ウメ　内藤マツ
池田ツル　岩田キノエ　伊藤ハナ
嵯峨野トリ　成澤フキオ　平田ヨシ
高木菊江　伊藤トラ　小宮千年
富田春江　信原スヾ　小島ヨリ
西浦スエ　山口キン　八木シヨ
岡芹カトジ　佐々木ウタ　前澤ヤス
栗田マサ　小池ウメ　田崎清
瀧澤鶴子　田坂幾代　土岐春
加藤ハナ　新海ツナ　淺野文子
鈴木ウメ子　林マサ　安藤テル

●常盤支部（三十八名）

阿戸ハル　中田キヨ　那須野トミ
佐々木サダヨ　陶山トメ　石田ヤヨ
佐々木フミ　坂川ツタ　石岡スミ
岩間ミサヲ　中村シナ　佐々木ミユキ
藤田キセ　櫻井フカヨ　搗田トキ
佐々木ミチヨ　佐藤ミチリ　佐藤トシエ
佐光コウ　佐々木トシ　吉田キク
鳴海チヨ　山本ツマ　千葉セヨノ
半澤シサ　永田シン　三浦ショ
中鉢ハルエ　伊吹キク　佐々木フク
石川キシ　阿部チヤノ　木村ソウ
小野寺タカ　阿部タキ　佐藤ヨシノ
木村ロク　佐藤シン

●磐城支部（十一名）

沼田マサ　石内タケ　富岡タケ
小松ヘル　小林クマ　富岡エシ
山口コウ　植木トシノ　小熊ユキ
富岡イシ　栗川トヨ

●松島支部（一名）

黒川さだ子

●王子支部（一名）

松本てい子

●綾　支部（一名）

伊東ワカ

●長倉支部（一名）

鈴木モト

●大藏支部（一名）

矢作ナツエ

●本芝支部（一名）

塚越たか

●大阪聯合會直屬（一名）

小西キク

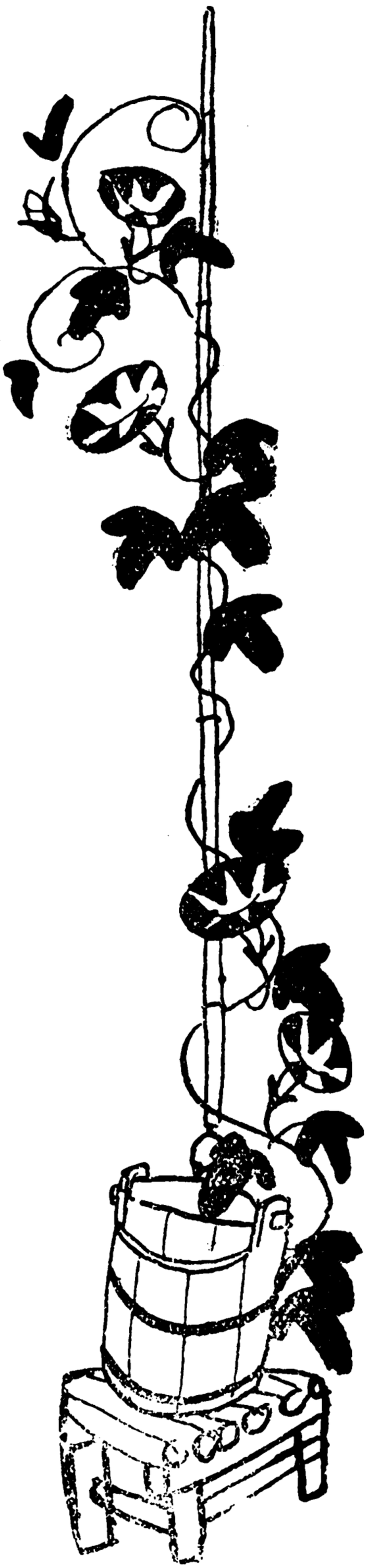
荏原支部婦人會

荏原支部の、東京電氣會社の會員の方々は七月二十日の夜、會社の中の倶楽部で婦人會をお開きになりました、暑い夜だのに集まられた方は百名程、表の窓口からなぞも大勢の人が見てゐらつしやいました。本部からは鈴木會長油谷先生平澤記者が行き、會社からは佐藤支部前原工場長、支部からは佐藤支部長が、それ〳〵有益で面白いお話をなさいました。最後に三浦樂堂先生の新講談があつて皆様を笑はせました。

各支部婦人部に告ぐ

もう秋になりまして、集つてお話をしたり伺つたりするに好い時候になりました。茶話會だの、講話會だのを開かうではありませんか　本部ではそれ〳〵準備がしてありまして、支部からの御通知を待ちかまへて居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



小説

復讐

君塚はま子

中

復讐！

女が男にする復讐！

信子と麻子と八重子との三人の婦人はどんな事をするのであらう。

× × × × × × ×

一月は夢の間に絶ち、早くも秋風立初めた九月の初旬、都は芝公園の蓮の花、其盛りはやゝ過ぎたれども青い葉の衣から、すいゝと咲き出た、薄桃色の花のかんばせの美しさ。其蓮池の横手に、仰ぎ見れば高い木立の、其上に猶ほ高く聳えた五重の塔の神さびた屋の上が、折柄の夕日に銀色にぴかゝ輝いてゐました。

橋の上でお池の中の鯉や鍋に麩だの煎餅だのを投げ與へてゐた小供等はいつの間にか居なくなつて、四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

邊が急に暗くなつた、と、思つて西の空を見上ると先刻の夕立雲が流れて行つたのであらう、夕日は眞黒な雲に包まれ、其雲は又金色のへりをとつた儘、次第次第と流れて行く。それを追ひかけるやうに、其後から別の雲が猿のやうな姿をして、むく〳〵と漂ひゆくのでございました。

兩人の女は橋を渡つて辨天様の社の前に手を合せて お詣りをし、一人の女は橋の袂で西の空を見上げながらもの思ひに耽つてゐましたが、ふと氣がつくと、いつ迄もいつ迄もお友達はお詣りをしてゐるので、神社の前に立戻つて、靜かに兩人の參詣の終るを待つてゐました。

急にぱつと明るくなつた。雲から太陽が顔を出したのである。池も木立も橋も神社も人の顔も甦つたやうに晴々しくなりました。

「まあ大變永い事お詣りをして、どんないゝ事お祈りなさいましたの」と聞いたは八重子

信子と麻子とは漸く御參詣を終つてにこりと笑ひ合つたが

「あてゝごらんなさい」と信子がひました。

八重子も微笑みながら、

「左様ねえ、貴女の事だから御出世の出來るやうにとお願ひしたのでせう、華族様の令嬢人になれますやうにとね。」

「あら厭だ、そんな事ではありません、ねえ」と、信子は麻子を顧ると、麻子は頷いて、

「左様ですとも、そんな事ではありません、もつと恐ろしい事ですわ。」

八重子は兩人の様子を見ながら、

「おかしいのね、信子さんの願事が麻子さんにわかるなんて、無線電信みたいなのね。」

「所がわかるのよ。」とお轉婆の信子は高い聲で云つて、

「兩人のお願事は同じい事なんですもの。」

「兩人が同じい願事？」と、八重子はわざと眼を丸くして見せたが、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「では麻子さんも矢張華族様の令婦人にならうつてんですねゝゝゝゝゝゝゝゝ。」

「そんな卑しいお願ひぢやないわ、私達は斯様お願ひしてよ、何年敵打の出來ますやうにとね。」

「敵打」と聞き返して八重子の顔はさつと變つたが

「あなた方は未だそんな事を思つてゐて」と、小さな聲で云ひました。

「何ですつて」と信子はきつとした語氣で、

「八重子さん、貴女もう復讐の事を忘れて」

「えゝえ、忘れはしませんけれど」と、何故か八重子の聲は曇り、吐息をほつと吐きました。

「しッ」と麻子は小さな聲で云つて信子の袖を引きました。敵打だの復讐だのと云つてゐるので、兩人連れの若い男が三人をじろ〳〵見ながら通り過ぎたのでありました。

三人はおもひおもひの心を抱きながら歩き出しました。誰も對手の心を測り兼ねて一言も口をきゝませんでした。

いつの間にやら御靈屋の上の小高い所へ出て、四邊に人氣の無いベンチに三人は無言で、揃つて腰をかけた。暫時木立の下にともつた灯のだん〳〵明るくなつてゆくのを見てゐましたが、やがて信子が口を切つて又先刻の話。

「八重子さん、貴女此頃什麼かしてゐると思つてよ私達の復讐と云ふのは冗談ぢやありませんわ、眞劍なんです。其後羽島さんとはどんな工合になつて？」

にこりともせず、信子は八重子に聞いた。七重子はそれに答へず、いつ迄も默つてうつむいてゐます心の中に悶えでもあるのであらう、綺麗に結つた島田髷か心持ふるへてゐます。麻子は凝乎と其云ひ淀んだ八重子のすべ〳〵した横顔を見結めてゐます。

夜はいつの間にか足元近く迄來た。四邊はもう仄暗くつゐ今しがた迄遠くに見えてゐた海は夕暮の底に沈んで仕舞つた。

暫時經つと、八重子は覺悟したらしくつと顔をあげ讃んだ聲音で、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

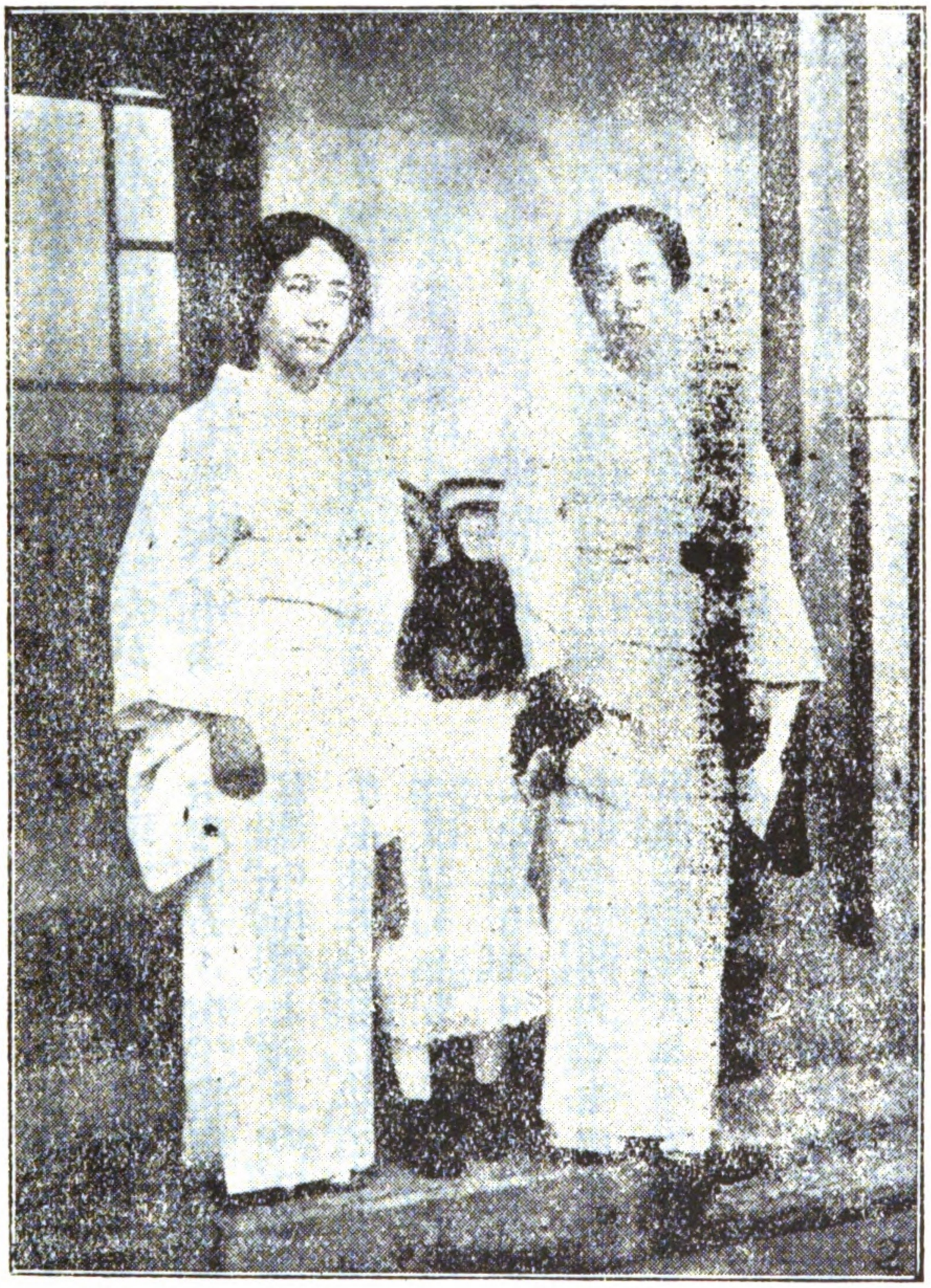
「私ね、羽島さんに結婚を申込まれました。」

「えッ」と、それを聞いた兩人は突然なので吃驚した。羽島とは三人が復讐の相手と見込んだあの會社員です。

「まあいつの間にやら、八重子さんも隨分だわね」と信子が云ふ。此隨分だわといつた言葉はどんな心で云つたのか八重子にはわからなかつた。

麻子はわけもなく喜んで、

「まあよかつた、とうゝ思ひ通りにゆきましたわねえ、」と云ひながら、八重子の顏を覗き込む。



ドイツの爲に船を沈められて戰死した上原中佐、竹垣中佐、兩人は未亡人

「で、貴女は何と御返事をして？」

信子は叱るやうに問ひ詰める。

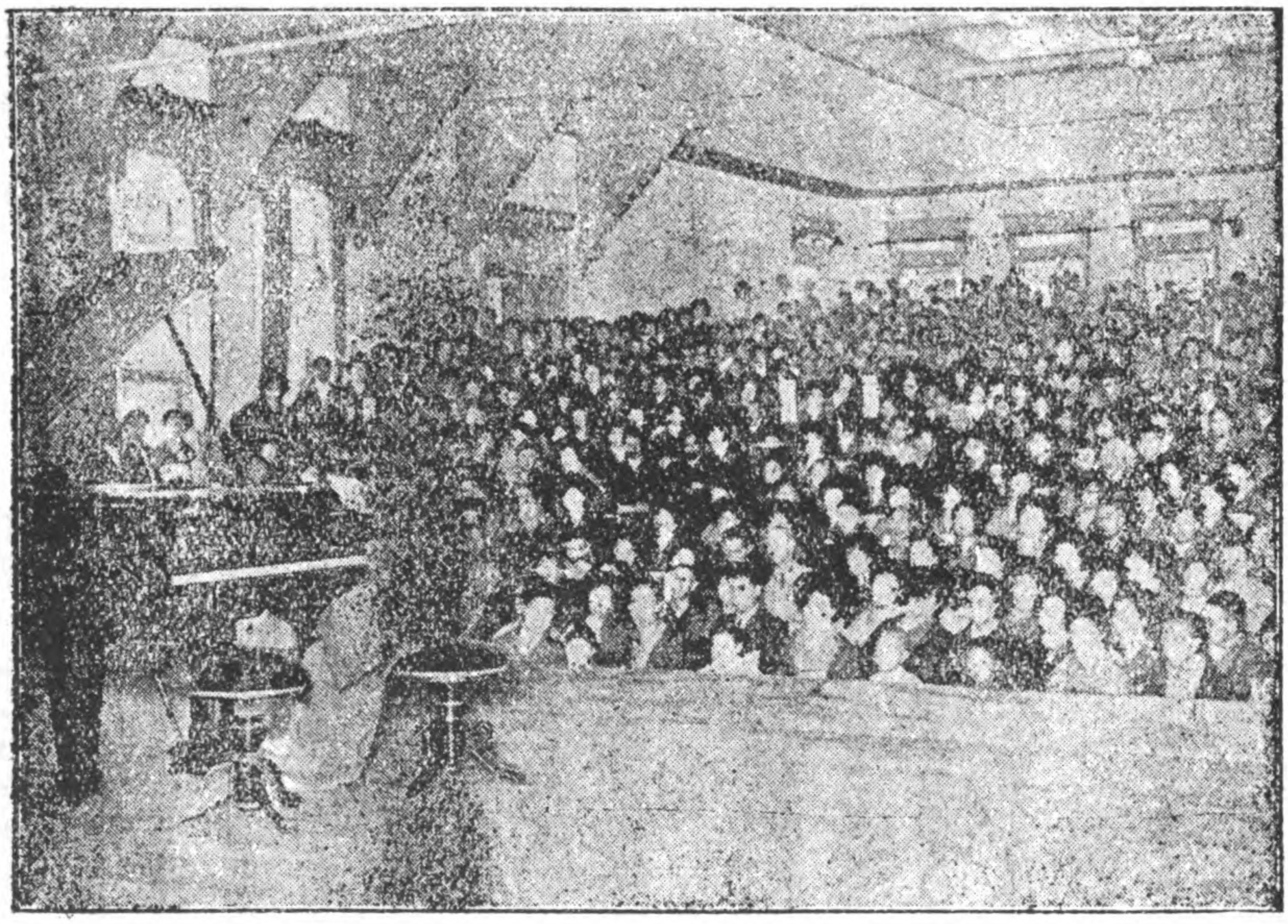
「未だ御返事はいたしません。」

「御返事は出來ないではありませんか」と、麻子は獨で笑つて、

「御返事はほら私等兩人を陰に隱して置いてからなさるのよ、其御返事は、八重子さんが私は卑しい職業婦人ですと被仰る筈よ、羽島さんは驚いて逃げ出す。それをみんなで手を叩いて笑つてやらうと約束したぢやありませんか。」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「けれどもね麻子さん、八重子さんは以前とは違つて何だか變なんですわ。」
「變つて、什麼變なの、」
「八重子さんの心はぐらついてゐてよ。」
「へえ。」と、麻子は眼を丸くした。
八重子はきつぱりと
「全くです、私の心は迷つてゐます。」
「まあ什麼したつての？」と麻子。
「私ね、あの方と御交際するやうになつてから、今迄知らなかつた世界に出たやうに思はれるのです。」
「それが戀心と云ふものよ」



上野の高等女學校の音樂會

と、つて信子はつけ〳〵と云「八重子さんはミイラ取がミイラになつたのよ」
八重子はそんな事は耳にも入らないやうに恍惚として、暮れゆく公園の空にチラホラ煌き初めた星の影を見ることも無しに見なから、之れが戀と云ふものかしらと思つた。
元氣よくにつこり笑つた男の顔が、ぼんやりだがはつきり眼の前に現れた八重子の頰には微笑が浮んだ。
信子はいつ迄も八重子が默つてゐるので腹立し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く、

「ぢやもう復讐は止しなのね、御結婚でもなさるお つもりでせう。」

「復讐」

八重子は幻の世界から我に返つて

「復讐なぞと何だか眞面目でないやうに思はれてよ

「眞面目でないつて、」と、信子は眞實に怒り出し、

「お厭ならお止しなさい。私等だけで復讐しますは

え、立派に復讐して見せますとも」と云ひ捨てゝ、

ふいと立上つた。八重子は驚いて續いて立上らうと

すると、麻子が其袂を引留め

「まあお待ちなさい」と八重子の顔を見て

「八重子さん、とう〳〵貴女の番になつたわね。」

「？……」

「貴女の苦勞する番が來てよ。結婚前にはねみんな

今の貴女のやうな氣持でゐるのよ、大きなわく〳〵

した情深い手で包まれてゐるやうな氣がしてゐませ

う世の中の幸福と云ふ幸福をみんな味つてゐるやう

な氣がしてゐませう。」

「えゝ正直に申上げればそんな風なんですわ、白雲

も踏み分け行かんみ手とらば阿修羅の王も愛しと思

ふつてあの方が詠まれた歌なんですけれど、私も矢

張そんな氣がしてよ。」

まあこんな時に戀人の歌など讀んでと可笑しくな

つて、吹き出したいのを我慢して八重子の顔を見る

と、八重子は大眞面目の顔をしてゐるので笑ふ氣に

もなれず、麻子は頷いて見せて、それから斯樣云ひ

ました。

「全く世の中に結婚前後程嬉しい懷しい事はありま

せんけれども、さて、結婚して暫時經つと、今迄の

事がまるで嘘のやうに思はれて來ますものねえ。」

「まあ」と八重子はそれを信ぜられないやうな顔を

して、

「眞實に左樣でせうかしら麻子さん。」

「悲しい事實ですわ、信子さんのお話ぢやありませ

んけれども、男と云ふものは結婚を未だしない前に

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はあなたは何故そんなに美しいでせうとか、眞實に見事な挿花ですとか、日本の婦人の手先の器用なのは天才がかわけてあなたはお裁縫が御上手でゐらしつやいますとか、賞められるだけ褒めて置いて、さて結婚して暫時經つと、お前は會社づとめをした女だから置く事はならんなどと横に車を押して、追ひ出して仕舞ふんですものね」と、麻子は此話をする時のくせで、もう涙ぐみました。

「男つて者は眞實にそんなものでせうかしら。」と八重子は什麼しても信じられないやうに、繰り返して聞きました。麻子は八重子の顔をしげ〳〵と見て、

「まあね、私は卑しい職業婦人ですつて羽島さんに云つてごらんなさい。左様したら何もかもわかりますから。」

「私は職業婦人ですつて、そんな事を云ふは何だか恐ろしいやうに思はれます。」と八重子は正直に云つた。

「ホヽヽヽヽヽ……」と麻子は笑つて、

「あなたも丁度信子さんみたいな事を云ふやうになりましたね。」

云はれてはつと八重子は氣がつきました。それでも此儘默つて結婚して仕舞ふかしらと思ふ心は消えませんでした。いろ〳〵と思ひ迷つた心で木の間から東京の町を見下しました。町は浮世、いろ〳〵の光といろ〳〵の物音と、其所には矢張辛く思ひ惱んでゐる人もあるでせう。

下

「私は會社づとめをしてゐる女です」と、八重子は思ひ切つて羽島に云ひました。どんなに感情が裏切らうとしても、正直の事を云はねば一生の不幸になる故と固く覺悟したのでした。此所は八重子の部屋一月前と尠しも變りませんぬが、机の上の鴨居を飾る山水の油繪は羽島が書き贈つた物である。

羽島は身丈のすらりとして、顔は凄い程に凛乎としてゐますが、笑ふ時には眼尻に顫ひつきたい程の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

愛嬌娘がより、いつも和かな口のきゝやうとする男です。

悪口屋の信子は「色魔」と云ふ有難くない仇名を陰では云つてゐました。が、八重子には什麼しても左様は思はれませんでした。

羽島は日本の結婚法には反對でした、親の定めた自分の妻となる人とちよつと見合をして、それで一生の大切を定めるなどはとても出來ない。自分の最愛の妻は自分にみつける。

「所が丁度私の願つてゐるやうな婦人とめぐり逢つた。其婦人と結婚したい。其婦人は八重子さんあなたです。」

斯様云つて羽島は八重子に結婚を申込んだのでした。

八重子は遠い秋田縣の生れ。お宅は可成財産のある宅ですが、都會生活がしたくて東京へ出て來たのでした。末娘の事とて親達は娘の爲すが儘にまかしてあります。然し八重子は自分勝手や不行蹟を働く女ではありません、お友達の信子や麻子と、矢張同じな國から出た人の二階を借れて、會社に出る傍ら女の修む可き學問技藝を學んでゐたのでした。

それが信子や麻子が、復讐をする爲めだと云ふ言葉に進まぬながら從つて、羽島と交際を初めると、男と云ふ者は信子などの云つてゐるやうなものでは無いやうに思はれ、自分で自分がわからないやうな感情の湧き出るも覺え、結婚を申込まれた時はまるで夢のやうな氣持でゐました。二十一歳になつた今初めて覺えた氣持である。

「私は會社づとめをしてゐる女です。」

斯様羽島に云つた時の八重子の顔は蒼であつた羽島が何と云ふか、小さな胸に波立たして、女の一念羽島の顔を思ひ切つて見詰めた。次の間には麻子と信子とが息を凝して、どんな風になるかと様子を一生懸命覗つてゐました。

羽島は、フン職業婦人かと鼻の先に嘲笑ふつた。と思つたら左様で無く、いつもの通り愛嬌のいゝ笑

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

様をして、
「そんな事は能く知つてゐますよ。」
「えゝ御存じでゐらつしやる？」
「知つてゐますとも、」
「知つてゐながら、それであの、」結婚を申込んだのですかと聞かうとしたが、急に恥しくなつて止して仕舞いと、羽島は不思議相な顔をして、
「それで什麼しました。」
「會社に出てゐる女と聞いても卑しいと思ひませんこと」
「何の」と羽島は笑つて、
「其所があなた方の尊い所です、自分の手で働きながら、自分を人間らしく教育すると云ふ所に、誰でもまねの出來ぬ尊さがあります。」
まあ私と同じい心をお持ちであると思つて、八重子は安心の吐息をほつと洩した。
「それであの」と羽島は云ひ澁つたが、
「あの、此間の御返事を承りませう。」
「はい。」と云つて八重子はぽつと顔を赤めた。
「不承知ですか」と羽島の聲は心配相である。
「いゝえ」
「では御承知下さいますか。」
八重子は默つて、次の間の襖に向つて振り向くと丁度其時襖の外でカタリと物音がした。羽島は怪しく思つて、突然立上つて襖を開くと、吃驚して麻子：信子とが逃げ出さうとする所であつた。
「や、お歸りですか。」と羽島。
「ごめん下さい」と、兩人の女は顔を眞紅にした。八重子もおど〳〵して心配相に有樣を見てゐると、羽島はいつもの調子で元氣よく笑つて、
「御留守中に上つて飛んだ失禮してゐました。さあ何卒お入り下さい。」
女達はもぢ〳〵してゐたが、やがて席が定まると麻子は羽島の前にきちんと手をついて、もぢ〳〵しながら、疊の上に眼を伏せてあやまりました。
「立聞なぞしましてあのすみませんでした。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「そんな事があるものですか、あなた方は今迄嘘りになつたばかりでせう。」と羽島は氣に止めぬやうに云ふ。

「眞實の事を云はねば氣がとがめますから何でも申し上げるのですけれど、實はみんなでたくらんで、先刻から立聞きしてゐましたのです。」と麻子。

「それは又何故です。」

「それはあの、、復讐する爲ですわ。」

「復讐？」と羽島は不思議相な顔をしたが、

「立聞なぞとそんな事はあなた方はなさいません。いゝえ、しませんとも、左樣極めて仕舞ひますが、全體其復讐とは何の復讐です。」

三人の婦人は顔を見合せたが、お轉婆さんの信子が口を出して、

「實は世の中の男達が職業婦人を卑しめますから其敵打をしやうと云ふのです。」

「それは面白い、してどんな風に敵打をするんです」

「男の心を引張つて來て、男に結婚を申込まして、それから私は卑しい職業婦人と云ふのです。左樣すると男は逃げて行きませう。それを見て手を叩いて笑つてやらうてんですわ。」

「はゝゝゝ」と羽島は益々笑つて、

「それは益々面白い。然し、男がもし逃げて行かなかつたら什麼するつもりなんです。」

「さあ」と信子は麻子と顔を見合せて默つて仕舞つた。

「あなた方は空想屋さんですね、世の中の男がみんな職業婦人と聞いて逃げ出すものと考へてゐらつしやたんですね。所が僕なんか職業婦人と聞くと反對に結婚を申込みたい程です、はゝゝゝ。」

「ホゝゝゝゝ」と女達も笑つて、

「貴郎は全く尊い同情者よ」と信子はもう「色魔」だなぞと陰口を聞いた事をすつかり忘れて、なれ〳〵しい口のきゝやうをします。

「待ち給へ。」と羽島は勘し考へて、

「左樣すると貴嬢方の復讐は見事に失敗したわけですね。」

「ゝゝゝゝゝ」

默つて婦人達は顔を見合せてゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「尤もあなた方の復讐は酷し無理でしたね、私も復讐には賛成ですが、私の復讐は男が女をいぢめると云つてもそれに反抗すると云ふ事ではありません、金持が貧乏人を苦しめると云つても、それに双向ふと云ふのではありません、男が女をいじめたり金持が貧乏人を苦しめたりするのは、其男や其金持が間違つてゐるのですから、其間違つた心を正しくして貰ふと云ふ事が私は眞實の敵打と云ふものかと思ひます。」

「まあ敵打つて隨分むづかしいものねえ、おや全體私等は敵打をするには什麼すればいゝんでございますか。」と、信子は珍し相に聞く。

「ちつともむづかしい事はありません、誠心さへ有つて居ればいゝんです。自分が誠心さへ有つてゐまれば世の中の人達も其誠心に感化されてだん〳〵正しい心になります。左様しておしまいには世の中で職業婦人を尊敬こそせい、卑しんだりなぞする人は一人も無くなります。」

「それで、それは全體いつ頃でございますの。」

「いつになつたらそんな世の中になるかわかりません。然し、自分が誠心で何でもすると云ふ事はそれだけでも結構ぢやありませんか。世の中の間違つた男なぞが、あなた方を卑しんだり苦しめたりしたりして、それにひく〳〵したり、双向つたりするには當りません。返つて其間違つた心根を憐んでやつた方がいゝでせう。」

八重子はしげ〳〵と羽島の顔を見てゐましたが、

「眞實にね、眞實に世の中の間違つた考へをもつてゐる人達も正しい心になつて戴きたいのね。」

「左様するのが眞實の復讐でせう。」

と信子。羽島が頷くを見て信子は更ねえ羽島さん」

「私等はそれぢや之れから眞實の復讐に勢ひ付いて、せう。そして其敵打をするには誠心が必要でせう。ねえ羽島さん。」

「驚いた信子さんはまるで鸚鵡みたいだね。は、、、、、」

八重子は默つて羽島の聲に聞き惚れてゐました。表には懐しげに初秋の風が吹いてゐます。

復讐！

女が男にする復讐は見事外れました、之れから男も女もいつしよになつて、人間の心から「惡」を除く眞實の復讐が初まる事でせう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯便り

◎九月號もやつとこすつとこ出來ました。今月號はやさしい上にやさしくと心がけて編輯して見ました。學問の深い方にはあまりやさしい過るとのお叱りを受けるかもわかりませんが、記者の希望はどんな小さいお子さんにも面白く讀んで載きたいのです。何かお心附の事がありましたならば御忠告をして下さい。

◎いつも云ふ事ですが「友愛婦人」は世間の雜誌とは違ゐまして、會員はたゞお錢を出して買ふと云ふ雜誌ではありません。會員お互へお互へが人間として自分の爲めに作る雜誌なのです。だから皆様の其おつもりで、どんな記事を載せて呉れとか、或は又身の上の出來事や、御心配な事でもございましたならば、御遠慮無く御忠告或は御相談下さい。

◎友愛會は會長初め眞實に皆様の爲めを思つて働いてゐるのです故、父母や、兄弟の宅へお遊びにお出でになるやうな心で御近所のお方は本部又は支部にお遊びにお出て下さい。私どもも皆様のお宅へお伺ひしていろ〳〵のお話を承りたいと思つてゐます。

◎私は此夏尠し身體を痛めまして故郷へ行つて十日程遊んで來ました、皆様が暑い中一生懸命に働いてゐられるのに、呑氣に遊んでゐられない氣がしましたが、兵隊の方の關係もありましたし、いろ〳〵の用も重つてありましたし、それに又皆様の故郷の田舍へ行つて、其有様を見るも無駄ではないと考へました故にです。

◎私の故郷は越後の小千谷と云ふ町、信濃川の沿岸にある可成りの町です、歸りに信洲を歩いて善光寺にも參詣いたしました。

◎信州と云へば、今本部の稲葉女史は御病氣で信州の山の中の溫泉で御養生中です。御婦人の身でありお働きが過ぎたせいと思ひまして氣の毒に存じてゐます。

◎私は東北地方は以前廻はりましたから、之れで寒い方の田舍は大部分歩いたわけです、暖い方の九州四國から京都大阪の方へも行き「友愛婦人」の讀者の生れ故郷を殘らず歩いて見たいとの心願を有つてゐます。

◎大分涼しくなりましたが、什麼ぞ皆様お身體御大切に、國家の爲め充分お働き下さりませ。（平澤生）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月刊『友愛婦人』
雜誌

▲代金は總て前金を申受ます。

▲御送金は振替貯金郵便切手代用の三種ある。

▲振替貯金は尤も簡便確實であります。

▲拂込用紙は郵便局で無代で呉れます。

▲振替貯金の口座番號は東京三一五七

▲郵便の爲替の時は『受取人宿所氏名指定欄』に東京芝區友愛會本部と御書き下さい。

▲切手代用は一割增の事。

▲着金の時は直ちに送本し別に受領證を出しません。

▲御送金の報知、註文、問合は會計部宛に願ひます。

▲御轉居の時は新舊兩方の住所を御書き下さい。

定價

冊數	定價	郵稅	合計
一冊	十錢	五厘	十錢五厘
半ヶ年分六冊	六十錢	無料	六十錢
一ヶ年分十二冊	一圓十錢	無料	一圓十錢

廣告料

等級		頁	半頁
特等	三十圓		
一等	二十五圓	十七圓	九圓
二等	二十圓	十三圓	七圓
三等	十五圓	九圓	五圓

大正六年九月號
大正六年九月一日 每月一回發行【九月號】

東京市芝區三田四國町二番地
發行兼編輯人 坂本正雄
東京市赤坂區田町七丁目三番地
印刷人 小野寺豊彦
東京市赤坂區田町七丁目三番地
印刷所 三洲舍
東京市芝區三田四國町二番地
發行所 友愛會本部
振替東京三一五七 電話芝五八五五

發賣所
◎東京堂 ◎同文館 ◎北隆館
◎良明堂 ◎東海堂 ◎文影堂

不許複製

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛會會長　法學士　鈴木文治　著

勞働叢書　第一編

工場法釋義

全一冊美本
定價十五錢
郵稅金二錢

昨年から實施になつた工場法は何人でも心得て居らねばならぬものだが、中にも工場の中に於て働いて居られる方はよく之を心得て居れば大變便利でありますが、工場法實施以來、其説明の本は隨分澤山出來ましたが、本書の如く定價が安價く文字がわかり易くて、簡單に便利に出來て居るものは他にございませんそして働く人々の立場から解釋し説明致してありますから、友愛婦人の讀者にとつては眞に大切な本であります、十冊以上の申込は割引がありますす。

發行所　東京市芝三田四國町二二
（振替東京三一五七）

友愛會本部

大正六年六月二十八日（第三種郵便物認可）
大正六年八月二十五日印刷納本（九月號）
（毎月一回一日發行）
友愛婦人第九號
定價金十錢　郵稅一錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA